

京丹後市教育振興計画
施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
生涯学習課	松本 優

重点目標	5	生涯にわたる豊かな学びを支援します
基本的方針	まちづくりや福祉等多様な分野の関係部局、また学校園、保護者、地域住民、企業、大学等の多様な主体との協働により、住民相互のネットワークづくりを進め、子どもから大人まで、だれもが生涯にわたり学び続けることができ、その成果を地域社会に還元することのできる環境づくりを進めます。	

1. 施策の方向性 **PLAN**

1. 生涯学習の体制づくり	① 市民の多様な学習ニーズや地域課題に対応するため、学習内容の評価・検証や情報提供等を進めます。 ② 市民の自主的かつ自発的な学習の場である図書館の機能の充実と利用の促進を図ります。 ③ 市民の身近な学習及び交流の拠点である中央公民館及び地域公民館の活動の充実を図るとともに、地区公民館との連携を強化することによって、地域での公民館活動を支援します。 ④ 多様化する地域課題に対応するため、地区公民館機能を含む新たな地域コミュニティ組織の立ち上げなど、公民館と地域コミュニティのあり方について見直しの検討を進めます。
2. 人権教育の推進	① 人権啓発推進協議会の活動の充実を図るとともに、関係機関と連携しながら、人権に関する正しい理解と認識を高める活動を進めます。 ② さまざまな人権問題について関係法律の理念にのっとり、正しい理解と認識を深めるため、学校園、家庭及び地域など、身近な場での学習機会の充実と促進を図るとともに、関係機関・団体と連携し、職員及び指導者の資質向上を図るための学習機会の提供に努めます。
3. 社会教育施設等の整備充実	① 公民館や図書館等をはじめとする社会教育施設の設備・機能の充実を図り、社会教育の実践活動を行う環境整備を進めます。 ② 老朽化が進んでいる社会教育施設は、利用者の安全・安心に資するため、計画的な整備改修を検討します。 ③ 市民の情報拠点であり、憩いの場である市立図書館の今後のあり方について、検討を進めます。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市子どもの読書活動第三次推進計画	本市の将来を担う子どもたちが、今後も更に本に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるように、子どもの読書活動を総合的かつ計画的に推進するために策定	令和2年3月	令和2年度～令和6年度	

2. 主な取組と構成事務事業一覧 **PLAN** **DO** ※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照 **CHECK** **ACT**

1. 生涯学習の体制づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課					
① 市民の多様な学習ニーズや地域課題に対応するため、学習内容の評価・検証や情報提供等を進めます。						
② 市民の自主的かつ自発的な学習の場である図書館の機能の充実と利用の促進を図ります。						
③ 市民の身近な学習及び交流の拠点である中央公民館及び地域公民館の活動の充実を図るとともに、地区公民館との連携を強化することによって、地域での公民館活動を支援します。						
④ 多様化する地域課題に対応するため、地区公民館機能を含む新たな地域コミュニティ組織の立ち上げなど、公民館と地域コミュニティのあり方について見直しの検討を進めます。						
1	社会教育委員設置事業	生涯学習課	364	383	481	現状維持
	社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うとともに、地域の諸課題や市民の要望を反映した社会教育事業を展開するため、社会教育委員を設置する。					
2	はたちを祝う式典開催事業	生涯学習課	1,254	1,012	589	改善・効率化
	はたちを迎えた一人ひとりが、夢と希望をもって自立的に未来を切り開き活躍することを願うとともに、郷土への愛着を醸成することを目的に、記念式典を開催する。					
3	青少年教育事業	生涯学習課	1,128	1,129	1,240	現状維持
	本市の将来を担う青少年が心豊かに成長することができるよう、地域の青少年を守り育てる活動及び団体を支援する。					
4	中央公民館管理運営事業	生涯学習課	35,820	32,854	32,568	現状維持
	教育委員会内に中央公民館を設置し、地域住民の学習及び交流活動の拠点となる地域公民館及び地区(自治)公民館を統括、支援するとともに、公民館関係職員の研修機会を設ける。					

1. 生涯学習の体制づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
5	高齢者教育事業	生涯学習課	3,135	2,448	-	統合(整理)
高齢者の社会参加を促進し、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進するため、高齢者の学習と交流の機会を提供する。						
6	地域公民館管理運営事業	生涯学習課	26,337	25,559	29,409	現状維持
社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりをめざして各町に地域公民館を設置し、地域の身近な課題や生活課題等に即した学習機会を提供し、学習環境の整備・充実を図るほか、社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として、峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館施設の管理運営を行う。						
7	地域公民館管理運営事業【繰越】	生涯学習課	-	2,750	-	
社会教育活動、生涯学習等を行う拠点として、峰山、丹後及び弥栄の各地域公民館の管理運営を行う。						
8	公民館一般経費	生涯学習課	31,824	33,471	39,846	現状維持
地域公民館配置の会計年度任用職員任用経費及び公民館運営に係る事務局経費						
9	図書館管理運営事業	生涯学習課	67,036	75,113	78,181	現状維持
生涯学習の拠点施設として、市民の読書、調査研究等の要求に応えるよう、様々な資料・情報を収集、整理・保存し、提供するための図書館・図書室の運営及び環境を整える。また、子どもの読書活動推進のため、保育所・こども園、学校、地域、ボランティアなどと連携し、子どもから大人まで幅広く利用者の拡大を図るための各種の行事等を企画・運営する。						
10	社会教育総務一般経費	生涯学習課	3,366	3,593	4,041	現状維持
会計年度任用職員の配置等、社会教育事業全般に関する事務局経費						
2. 人権教育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
① 人権啓発推進協議会の活動の充実を図るとともに、関係機関と連携しながら、人権に関する正しい理解と認識を高める活動を進めます。						
② さまざまな人権問題について関係法律の理念にのっとり、正しい理解と認識を深めるため、学校園、家庭及び地域など、身近な場での学習機会の充実と促進を図るとともに、関係機関・団体と連携し、職員及び指導者の資質向上を図るための学習機会の提供に努めます。						
11	人権教育事業	生涯学習課	224	159	178	現状維持
人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向け、あらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深めるための学習機会を提供するなど人権教育を推進する。						
3. 社会教育施設等の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)					担当課
① 公民館や図書館等をはじめとする社会教育施設の設備・機能の充実を図り、社会教育の実践活動を行う環境整備を進めます。						
② 老朽化が進んでいる社会教育施設は、利用者の安全・安心に資するため、計画的な整備改修を検討します。						
③ 市民の情報拠点であり、憩いの場である市立図書館の今後のあり方について、検討を進めます。						
12	地区公民館管理運営事業	生涯学習課	4,329	4,106	4,448	縮小
地域住民の身近な生涯学習・地域活動の拠点である、網野地域の地区公民館を維持・管理する。						
13	峰山いさなご施設管理運営事業	生涯学習課	9,400	9,673	10,614	現状維持
親子のふれあいを含めた世代間の交流体験施設として、生涯学習の機会を提供することにより、市民の生きがいづくり及び健康増進を図るため、峰山林業総合センター(木工体験施設)、いさなご工房(陶芸体験施設)、いさなごコート(屋根付ゲートボール場)を管理運営する。						
14	マスターズヒレッジ管理運営事業	生涯学習課	16,830	16,591	17,365	現状維持
活力のある長寿社会の実現に向けて、生きがいづくり、ふれあい交流づくり及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図るため、大宮ふれあい工房(陶芸、染色体験施設)及びふれあいスポーツ広場等を管理運営する。						
15	アグリセンター管理運営事業	生涯学習課	7,146	9,052	7,018	現状維持
農業・農村の活性化を目的に設置したアグリセンター大宮を、地域づくり、農業経営体及び地域リーダーの育成、さらには地域住民の福祉や健康の増進を目的とした各種イベントや講演会などに有効活用できるよう適切に維持管理する。						
16	たちばな会館管理運営事業	生涯学習課	1,170	1,261	1,191	現状維持
網野町橘地区における生涯学習及びコミュニティ活動の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民に各種活動の場を提供するとともに、施設の利用の促進を図る。						
17	網野教育会館管理運営事業	生涯学習課	1,364	1,896	1,731	現状維持
教育及び地域の文化活動・生涯学習の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民の各種活動の場を提供するとともに、当該施設の利用の促進を図る。						
		計	210,727	221,050	228,900	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	まちづくりや福祉等多様な分野の関係部局、また学校園、保護者、地域住民、企業、大学等の多様な主体との協働により、住民相互のネットワークづくりを進め、子どもから大人まで、だれもが生涯にわたり学び続けることができ、その成果を地域社会に還元することのできる環境づくりを進めます。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	
	青少年の体験活動事業数	事業	42	H25	21	R5	60	R6
	趣味・教養講座数	事業	29	H25	52	R5	35	R6
	地域課題学習講座数	事業	2	H25	12	R5	10	R6
	高齢者大学の参加者数	人	789	H25	646	R5	1,000	R6
	人権学習会の参加者数	人	820	H25	729	R5	1,200	R6
	図書の年間貸出冊数(市民1人当たり)	冊	5.2	H25	6.17	R5	7.0	R6
	地域公民館施設の利用回数	回	4,308 (令和元年度) ※改正時追加指標	R1	3,775	R5	7,000	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK ACT

進捗状況区分	評価	令和5年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	▲	《青少年の体験活動事業数》 青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。今後も市青少年健全育成会等関係団体のほか、社会教育団体や学校、地域と連携・協力をしながら、より効果的な学習・体験の機会を提供する。
○ 予定どおり進んでいる		《趣味・教養講座数》 社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりを目指して、地域の身近な課題や生活課題等に即した学習機会を提供することができた。今後は新たなコミュニティ組織の中で地域の特色を活かした魅力ある講座を開講し、社会教育活動を推進していく必要がある。
▲ 少し遅れている		《地域課題学習講座数》 各町公民館連絡協議会や地域公民館を中心に地域の現状把握や課題共有に努め講座を実施している。京丹後市の歴史や自然について学ぶ講座が好評であり成果をあげている。 新たなコミュニティ組織へ移行する地域においても、公民館活動や生涯学習活動など地域課題を解決する取組を継続できるような仕組みを構築する必要がある。
×		《高齢者大学の参加者数》 生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりの機会を提供し、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。受講者数減少、講座内容の硬直化等の課題を改善するため、今後、高齢者大学の在り方について検討していく必要がある。
		《人権学習会の参加者数》 人権講演会や人権映画会、障害者交流研修会等を通じて、人権学習の機会を提供することができた。社会情勢が目まぐるしく変化する中、人権問題は年々多様化かつ複雑化しており、その態様を的確に把握し、効果的な学習機会を提供し啓発を広げていく必要がある。
		《図書の年間貸出冊数（市民1人当たり）》 計画どおりに各種行事を実施することができ、市民の読書推進を図ることができた。また、貸出システムの更新を行い、Web利用者カードや返却予定日通知メール等新たなサービスを開始したが、貸出冊数、図書館行事への参加者数が減少傾向にあるため、引き続きサービス等について周知、工夫に努める必要がある。また、図書館(2館)、図書室(4室)の運営体制やサービスについて、ニーズ把握に努め、対応を検討していく必要がある。
		《地域公民館施設の利用回数》 市民に学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。一方で、貸館施設の利用者数はコロナ禍前に戻りつつある兆しはあるものの、コロナ禍で活動が止まった団体等もあり、今後の市民活動の活性化に努める必要がある。引き続き、社会教育活動や生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として管理運営を行い、地域の身近な課題、生活課題等に即した学習機会の提供に努める。 丹後地域公民館は、令和2年度に耐震改修工事が完了したが、他の施設についても老朽化に伴う計画的な維持管理が課題となっている。
		※平成30年12月丹後地域公民館耐震強度不足のため貸館休止、平成30年12月から令和元年10月までは丹後庁舎を、10月から令和3年3月までは丹後庁舎と旧豊栄小学校を代替施設として使用した。 ※平成30年度～令和2年度の数値は、代替施設の数値を含めた数値。

5. 今後の施策展開の考え方(令和6年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具 体 的 内 容
施策展開の考え方	1	新たな地域コミュニティへの移行が始まる中、公民館体制及び新たな地域コミュニティにおける公民館活動の推進について、地域や関係機関等との協議等をていねいに進める必要がある。併せて都市拠点整備の中で新たな図書館のあり方について検討する。
	2	人権講演会の参加者が固定化傾向にあるため、講演の内容について、同和問題など継続的な課題はあるものの、インターネットによる人権侵害や自己実現、幸福追求など新たな人権課題にも目を向けながら、幅広く人権について考える機会を提供していく。
	3	必要な修繕の実施を行うなど、利用者が安心・安全に利用できる環境を整備し、併せて利便性の向上を図るとともに、今後の施設の在り方を検討する必要がある。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	383千円		503千円	120千円	76.1 %		
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額		
	事業	02 社会教育委員設置事業						503千円	
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実						
目的	社会教育行政全般について調査・研究及び審議し、答申及び建議を行うとともに、地域の諸課題や市民の要望を反映した社会教育事業を展開するため、社会教育委員を設置する。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	社会教育委員会議（市内の視察も含む）を開催し、社会教育事業及び社会教育の諸課題について審議するとともに、委員の研修機会を提供した。				＜会議の主な内容＞（3回開催） ・令和4年度事業報告、令和5年度事業計画について ・令和6年度予算、「図書館の在り方」「高齢者大学の在り方」他について ・令和6年度社会教育推進の重点、第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて ほか ＜委員研修等＞ ・丹後地方社会教育委員連絡協議会理事・幹事会（3回：宮津市） ・丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会（6月8日：与謝野町） ・京都府社会教育委員連絡協議会総会（6月30日：綾部市） ・京都府社会教育委員連絡協議会研究大会（11月21日：向日市） ・近畿地区社会教育研究大会滋賀大会（9月8日：滋賀県草津市）				
	○委員報酬（委員：15人、報酬対象：12人） 252千円 ・社会教育委員会議出席報酬（3回） 140千円 ・その他会議出席報酬（府総会、近畿大会等） 112千円 ○旅費（委員費用弁償、事務局普通旅費） 44千円 ○負担金、補助及び交付金 65千円 ・丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金 56千円 ・京都府社会教育委員連絡協議会分担金 9千円 ○その他（消耗品費、駐車場使用料、有料道路通行料） 22千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,012千円	1,079千円	67千円	93.7 %		
	目	02 社会教育推進費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 はたちを祝う式典開催事業				1,079千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源				
目的	はたちを迎えた一人ひとりが、夢と希望をもって自立的に未来を切り開き活躍することを願うとともに、郷土への愛着を醸成することを目的に、記念式典を開催する。							
主要な事務・事業の概要	○報償費 ・報償費（記念アトラクション謝金） ・報償物品（記念写真、記念品） ○需用費 ・消耗品費(パネル設置台等)、燃料費 ○通信運搬費 ・返信用ハガキ（来賓用） ○手数料 ・クリーニング手数料 ○委託料 ・ビデオ撮影・編集委託料（式典中継配信） ○使用料及び賃借料（会場借上料等）			659千円 32千円 3千円 2千円 82千円 234千円	〈京丹後市はたちを祝う式典 開催概要〉 ・日 時 令和6年3月17日（日）午後2時00分～午後3時40分 ・会 場 京都府丹後文化会館 ・対 象 平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの内市内在住者及び市内各中学校卒業生537人（男286人、女251人） ・出席者 455人（男243人、女212人）（出席率84.7%） ・内 容 式 典：式辞、祝辞、はたちの主張、恩師からのメッセージ等、記念撮影 記念行事：動画クリエイターによる、お祝いパネル＆メッセージ 企画委員：司会、アトラクションの企画運営（バンド演奏）			
				成果・課題	○成人年齢が20歳から18歳に引き下げられたが、本市では高校卒業後一定の社会経験を積んだタイミングで家族や旧友、地域社会とのつながりをより感じることができる20歳を対象に「はたちを祝う式典」として開催した。 ○式典対象者の中から企画委員を募り、式典内容について企画委員が企画・意見を出し合い、その内容を式典に反映することで、充実した「はたちを祝う式典」を開催することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	1,129千円	1,241千円	112千円	90.9 %		
	目	02 社会教育推進費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	02 青少年教育事業				1,501千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
目的	本市の将来を担う青少年が心豊かに成長することができるよう、地域の青少年を守り育てる活動及び団体を支援する。		主な財源					
主要な事業・事業の概要	○少年少女児童合唱団補助金（3団体） 音楽を通して子どもたちの自分を表現する力や社会性、豊かな心を育む活動を行う団体に対し、補助金を交付 大宮児童合唱団、網野少年少女合唱団、久美浜児童合唱団 ※補助金の額：補助対象経費の1/2以内、1団体上限200千円 ※大宮：69千円、網野32千円、久美浜108千円 ○京丹後市青少年健全育成会補助金 青少年の体験活動やあいさつ運動など、青少年の健全育成に資する取組を実施する組織に対し、補助金を交付 ○地域子ども教室補助金（4団体×130千円） 地域の中に子どもたちの居場所を確保するとともに、さまざまな体験活動、住民との交流活動等地域全体で子どもを守り育てる活動を行う教室に対し、補助金を交付 ・対象学年：小学1年生～6年生 ・対象地域：フーフ・まむ（大宮町善王寺区） 新山ひこばえの集い（峰山町荒山区） 久美浜二区子ども広場（久美浜町二区） チャレンジ教室（久美浜町神野地区）			成果・課題	○青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。 ○今後も市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的な青少年活動を推進する必要がある。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																								
	項	04 社会教育費	32,854千円	32,939千円	85千円	99.7 %																										
	目	03 公民館費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課																								
	事業	01 中央公民館管理運営事業				33,351千円																										
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債） 19,000千円																											
目的	教育委員会内に中央公民館を設置し、地域住民の学習及び交流活動の拠点となる地域公民館及び地区（自治）公民館を統括、支援するとともに、公民館関係職員の研修機会を設ける。																															
主要な事業・事業の概要	○地区公民館活動交付金 30,806千円 【積算内訳（調整有）】 地区割 20,000円×180地区 世帯数割 1,400円×20,651世帯 町均等割 250,000円×6町 ○公民館職員研修会開催 京都府の「府民講座」を利用したことにより、京都府の負担で実施 ○公民館総合（傷害）保険料（52団体分） 2,048千円			【交付金町域別内訳】 <table><tr><th>区 分</th><th>地区公民館数</th><th>交付金額</th></tr><tr><td>峰山町公民館連絡協議会</td><td>8館</td><td>7,695千円</td></tr><tr><td>大宮町公民館連絡協議会</td><td>15館</td><td>6,013千円</td></tr><tr><td>網野町公民館連絡協議会</td><td>12館</td><td>7,562千円</td></tr><tr><td>丹後町公民館連絡協議会</td><td>4館</td><td>3,165千円</td></tr><tr><td>弥栄町公民館連絡協議会</td><td>4館</td><td>2,869千円</td></tr><tr><td>久美浜町公民館連絡協議会</td><td>5館</td><td>3,502千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>48館</td><td>30,806千円</td></tr></table> ※令和5年度より4地区公民館（野間地区・久美浜一区・久美浜二区・佐濃地区）が、新たな4組織（野間連合区・久美浜一区自治会・久美浜二区振興会・佐濃自治会）として新コミュニティに移行し「地域コミュニティ活動交付金」により支援					区 分	地区公民館数	交付金額	峰山町公民館連絡協議会	8館	7,695千円	大宮町公民館連絡協議会	15館	6,013千円	網野町公民館連絡協議会	12館	7,562千円	丹後町公民館連絡協議会	4館	3,165千円	弥栄町公民館連絡協議会	4館	2,869千円	久美浜町公民館連絡協議会	5館	3,502千円	合 計	48館	30,806千円
	区 分	地区公民館数	交付金額																													
	峰山町公民館連絡協議会	8館	7,695千円																													
	大宮町公民館連絡協議会	15館	6,013千円																													
網野町公民館連絡協議会	12館	7,562千円																														
丹後町公民館連絡協議会	4館	3,165千円																														
弥栄町公民館連絡協議会	4館	2,869千円																														
久美浜町公民館連絡協議会	5館	3,502千円																														
合 計	48館	30,806千円																														
			成果・課題	○地区公民館活動の支援を通じて、住民によるコミュニティ活動を通じた学習や交流機会の提供など、地区公民館が地域づくりの拠点としての機能を発揮することに寄与した。 ○持続可能な地域づくりのため、新たな地域コミュニティへのスムーズな移行を推進するため、今後の公民館活動の在り方など、地区公民館への丁寧な説明を行う必要がある。																												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																																																																										
	項	04 社会教育費					95.4 %																																																																												
	目	02 社会教育推進費	2,448千円		2,566千円	118千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課																																																																										
	事業	03 高齢者教育事業					2,809千円																																																																												
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（高齢者教育事業） 800千円																																																																														
					諸収入 社会事業等参加料 645千円																																																																														
目的	高齢者の社会参加を促進し、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進するため、高齢者の学習と交流の機会を提供する。																																																																																		
主要な事業・事業の概要	■高齢者大学 ・登録者数 464人（令和6年3月31日現在） ・実施地域 各町域（各地域公民館主管） ・事業の概要 【一般講座及び教養講座】 <table><tr><th rowspan="2">学園</th><th colspan="2">一般講座</th><th colspan="3">教養講座</th></tr><tr><th>回数</th><th>延べ参加者数</th><th>延べ回数</th><th>延べ参加者数</th><th>講座数</th><th>内 容</th></tr><tr><td>峰山</td><td>8回</td><td>347人</td><td>124回</td><td>1,289人</td><td>11講座</td><td>ちぎり絵、陶芸、他</td></tr><tr><td>大宮</td><td>8回</td><td>280人</td><td>34回</td><td>446人</td><td>6講座</td><td>書道、ピラティス、他</td></tr><tr><td>網野</td><td>8回</td><td>541人</td><td>162回</td><td>2,116人</td><td>12講座</td><td>水彩画、習字、他</td></tr><tr><td>丹後</td><td>8回</td><td>163人</td><td>43回</td><td>347人</td><td>8講座</td><td>生花、スローエアロビク、他</td></tr><tr><td>弥栄</td><td>7回</td><td>179人</td><td>52回</td><td>509人</td><td>7講座</td><td>スマホ、絵手紙、他</td></tr><tr><td>久美浜</td><td>8回</td><td>210人</td><td>59回</td><td>572人</td><td>8講座</td><td>古典文学、唱歌、他</td></tr><tr><td>合計</td><td>47回</td><td>1,720人</td><td>474回</td><td>5,279人</td><td>52講座</td><td></td></tr><tr><td colspan="7">※合同講座を含む 【百才活力学園】3講座（上記、一般講座に含む） 118人 ・峰山、大宮、弥栄学園にて講演、健康体操等を開催</td></tr><tr><td colspan="5"></td><td>成果・課題</td><td colspan="4">○報償費（講師謝金、出演謝礼品） 1,596千円 ○旅費（費用弁償、旅費） 24千円 ○需用費（消耗品費、燃料費） 181千円 ○委託料（バス運転委託料） 421千円 ○使用料及び賃借料（会場使用料、有料道路通行料等） 226千円 ＜参考＞京丹後市高齢者大学に関するアンケート実施 ・令和5年8～9月、各学園講座実施時に配布、対象者639名、有効回答数303名 ○生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりの機会を提供し、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○受講者数減少・内容の硬直化等の課題がある高齢者大学の在り方についてアンケートを実施し、参加者のニーズ等を把握した。 ○特に新規の参加者の増加に努めるとともに、より一層高齢者の社会参加の促進と学習の成果を地域活動等に活かす取組を推進する必要がある。 ○百才活力学園では、食をテーマにした講演、実際に身体を使った体操等を通じ、高齢者の健康長寿に寄与することができた。</td></tr></table>					学園	一般講座		教養講座			回数	延べ参加者数	延べ回数	延べ参加者数	講座数	内 容	峰山	8回	347人	124回	1,289人	11講座	ちぎり絵、陶芸、他	大宮	8回	280人	34回	446人	6講座	書道、ピラティス、他	網野	8回	541人	162回	2,116人	12講座	水彩画、習字、他	丹後	8回	163人	43回	347人	8講座	生花、スローエアロビク、他	弥栄	7回	179人	52回	509人	7講座	スマホ、絵手紙、他	久美浜	8回	210人	59回	572人	8講座	古典文学、唱歌、他	合計	47回	1,720人	474回	5,279人	52講座		※合同講座を含む 【百才活力学園】3講座（上記、一般講座に含む） 118人 ・峰山、大宮、弥栄学園にて講演、健康体操等を開催												成果・課題	○報償費（講師謝金、出演謝礼品） 1,596千円 ○旅費（費用弁償、旅費） 24千円 ○需用費（消耗品費、燃料費） 181千円 ○委託料（バス運転委託料） 421千円 ○使用料及び賃借料（会場使用料、有料道路通行料等） 226千円 ＜参考＞京丹後市高齢者大学に関するアンケート実施 ・令和5年8～9月、各学園講座実施時に配布、対象者639名、有効回答数303名 ○生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりの機会を提供し、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○受講者数減少・内容の硬直化等の課題がある高齢者大学の在り方についてアンケートを実施し、参加者のニーズ等を把握した。 ○特に新規の参加者の増加に努めるとともに、より一層高齢者の社会参加の促進と学習の成果を地域活動等に活かす取組を推進する必要がある。 ○百才活力学園では、食をテーマにした講演、実際に身体を使った体操等を通じ、高齢者の健康長寿に寄与することができた。			
							学園	一般講座		教養講座																																																																									
						回数		延べ参加者数	延べ回数	延べ参加者数	講座数	内 容																																																																							
						峰山	8回	347人	124回	1,289人	11講座	ちぎり絵、陶芸、他																																																																							
						大宮	8回	280人	34回	446人	6講座	書道、ピラティス、他																																																																							
						網野	8回	541人	162回	2,116人	12講座	水彩画、習字、他																																																																							
						丹後	8回	163人	43回	347人	8講座	生花、スローエアロビク、他																																																																							
						弥栄	7回	179人	52回	509人	7講座	スマホ、絵手紙、他																																																																							
						久美浜	8回	210人	59回	572人	8講座	古典文学、唱歌、他																																																																							
						合計	47回	1,720人	474回	5,279人	52講座																																																																								
						※合同講座を含む 【百才活力学園】3講座（上記、一般講座に含む） 118人 ・峰山、大宮、弥栄学園にて講演、健康体操等を開催																																																																													
						成果・課題	○報償費（講師謝金、出演謝礼品） 1,596千円 ○旅費（費用弁償、旅費） 24千円 ○需用費（消耗品費、燃料費） 181千円 ○委託料（バス運転委託料） 421千円 ○使用料及び賃借料（会場使用料、有料道路通行料等） 226千円 ＜参考＞京丹後市高齢者大学に関するアンケート実施 ・令和5年8～9月、各学園講座実施時に配布、対象者639名、有効回答数303名 ○生きがいづくり、健康づくり、仲間づくりの機会を提供し、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○受講者数減少・内容の硬直化等の課題がある高齢者大学の在り方についてアンケートを実施し、参加者のニーズ等を把握した。 ○特に新規の参加者の増加に努めるとともに、より一層高齢者の社会参加の促進と学習の成果を地域活動等に活かす取組を推進する必要がある。 ○百才活力学園では、食をテーマにした講演、実際に身体を使った体操等を通じ、高齢者の健康長寿に寄与することができた。																																																																												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	04 社会教育費					98.0 %						
	目	03 公民館費	25,559千円		26,075千円	516千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課				
	事業	02 地域公民館管理運営事業					28,825千円						
基本計画			主な財源	使用料	峰山・丹後・弥栄地域公民館使用料				1,285千円				
				使用料	峰山地域公民館水道使用料負担金				229千円				
目的	社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりをめざして各町に地域公民館を設置し、地域の身近な課題や生活課題等に即した学習機会を提供し、学習環境の整備・充実を図るほか、社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として、峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館施設の管理運営を行う。			使用料	丹後地域公民館光熱水費負担金				50千円				
				諸収入	社会教育事業等参加料				57千円				
				諸収入	峰山地域公民館漏水修繕工事負担金				136千円				
			諸収入	市有自動車損害共済金				90千円					
主要な事業・事業の概要	○講座・教室等の実施、地域公民館事業の広報			503千円						<主な公民館事業> ※ 参加者数は延べ人数			
	・報償費（講師謝金、報償物品）			143千円									
	・需用費（消耗品費、燃料費）			204千円									
	・使用料及び賃借料（会場使用料、器材借上料）			74千円									
	・委託料（バス運転）			82千円									
	○地域公民館施設等維持管理経費			25,056千円									
	・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費）			11,110千円									
	・役務費（通信運搬費、ゴミ処理手数料ほか）			344千円									
	・委託料（宿日直、施設清掃、エレベーター保守点検ほか）			11,076千円									
	・使用料及び賃借料（テレビ受信料、土地借上料）			285千円									
	・備品購入費（弥栄地域公民館ガス炊飯器）			136千円									
	・修繕費（峰山地域公民館2階床カーペット修繕ほか）			2,105千円									
<貸館施設の利用状況>													
		区 分	利用回数	延べ利用者数	施設等維持管理経費								
		峰山地域公民館	2,269回	33,481人	9,490千円								
		丹後地域公民館	688回	11,047人	7,595千円								
		弥栄地域公民館	818回	16,482人	7,553千円								
成果・課題	○市民に学習機会を提供することで、社会教育活動を推進することができた。 ○貸館施設の利用者数はコロナ禍前に戻りつつある兆しはあるが、コロナ禍で活動が止まった団体等もあり、今後の市民活動の活性化に務める必要がある。 ○各公民館施設の老朽化により、修繕が必要な箇所が多いことから、計画的な修繕を検討する必要がある。												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	2,750千円		2,750千円	0千円	100.0 %	課	生涯学習課
	目	03 公民館費					(参考)繰越予算額		
	事業	02 地域公民館管理運営事業（繰越）					2,750千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	社会教育活動、生涯学習等を行う拠点として、峰山、丹後及び弥栄の各地域公民館の管理運営を行う。								
主要な事務・事業の概要	○丹後地域公民館屋内消火栓ポンプ修繕工事 ・修繕料			2,750千円					
				2,750千円					
				成果・課題	屋内消火栓ポンプの修繕を実施し、火災発生時の初期消火活動に支障なく使用できるようになった。				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	33,471千円		33,670千円	199千円	99.4 %		
	目	03 公民館費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 公民館一般経費					33,320千円		
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源					
目的	地域公民館配置の会計年度任用職員任用経費及び公民館運営に係る事務局経費								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（地域公民館：12人） （社会教育指導員6人、事務補助員6人）			32,693千円	○京都府公民館連絡協議会負担金 33千円				
	・報酬			23,641千円	○AED借上料（峰山・丹後地域公民館） 63千円				
	・期末手当			4,163千円					
	・共済費			4,342千円	○その他経費（消耗品費） 7千円				
	・費用弁償			547千円					
	○公民館大会・研修会への参加に関する経費			36千円					
	・旅費（費用弁償、旅費）			12千円					
	・需用費（消耗品費、燃料費）			17千円					
	・使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）			7千円					
	○地域公民館配置公用車の維持管理経費（5台）			639千円	成果・課題	○市内6地域公民館の運営について、正職員である地域公民館長1人と会計年度任用職員2人の3人体制により、適正に運営することができた。 ○研修を通じた公民館職員の資質向上、及び情報共有による各公民館活動の更なる充実を図る必要がある。			
	・需用費（燃料費、修繕料）			468千円					
	・役務費（登録手数料、自動車損害保険料等）			143千円					
	・公課費（自動車重量税）			28千円					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	75,113千円	75,398千円	285千円	99.6 %			
	目	04 図書館費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	01 図書館管理運営事業				77,554千円			
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 5,000千円 寄附金 ふるさと応援寄附金 800千円				
目的	生涯学習の拠点施設として、市民の読書、調査研究等の要求に応えるよう、様々な資料・情報を収集、整理・保存し、提供するための図書館・図書室の運営及び環境を整える。 また、子どもの読書活動推進のため、保育所・こども園、学校、地域、ボランティアなどと連携し、子どもから大人まで幅広く利用者の拡大を図るための各種の行事等を企画・運営する。								
主要な事務・事業の概要	○図書館協議会委員報酬・費用弁償 (委員10人、会議3回)		107千円		＜利用状況等＞				
	○市立図書館（2館）図書室（4室）の管理運営費		75,006千円		区 分	蔵書数	年間貸出点数	(個人貸出点数)	年間貸出者数
	・会計年度任用職員任用経費（通常業務19人、代行職員）	52,286千円	峰山図書館	84,067点	71,103点	51,248点	11,654人		
	・図書購入費（AV資料含む）	8,779千円	あみの図書館	106,926点	99,661点	83,036点	18,469人		
	・雑誌及び新聞購入費	1,309千円	大宮図書室	37,514点	61,982点	48,182点	9,864人		
	・ブックスタート事業経費（279人に配付）	162千円	弥栄図書室	28,527点	32,751点	26,526点	6,297人		
	・Wi-Fiフィルター通信料	97千円	丹後図書室	29,240点	30,216点	23,332点	5,621人		
	・図書システム設定手数料	5,121千円	久美浜図書室	25,630点	48,859点	37,485点	9,008人		
	・図書システム利用料、保守委託料	3,252千円	(イタ-ネット)		2,200点	2,200点	2,200人		
	・光熱水費（あみの図書館）	1,792千円	合 計	311,904点	346,772点	272,009点	63,113人		
・その他（図書装備用品等）		2,208千円	※市民1人当たりの年間貸出冊数：5.38冊（個人貸出点数/R5年度末人口） ※インターネットでの貸出延長処理 12月より実施（1点1人換算）						
＜主なサービス内容＞		○計画通り行事を実施することができ、市民に対する読書推進を図ることができた。 ○システム更新を行い、Web利用者カード、返却予定日通知メール等新たなサービスを開始した。 ○貸出冊数、図書館行事への参加者数が減少傾向にあるため、引き続きサービス等について周知、工夫に努める必要がある。 ○市立図書館（2館）図書室（4室）の運営体制・サービスについて、ニーズ把握に努め、対応を検討していく必要がある。							
・資料（図書・AV資料・雑誌新聞）の収集、整理、保存、貸出など ・閲覧、学習スペースの提供（Wi-Fi接続サービス） ・図書館相互協力・おはなし会等の行事開催・広報活動 ・学校等との連携による読書推進事業・読み聞かせボランティアの活用など									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	3,593千円		3,644千円	51千円	98.6 %		
	目	01 社会教育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	50 社会教育総務一般経費					3,533千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源				
目的	会計年度任用職員の配置等、社会教育事業全般に関する事務局経費								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（社会教育指導員1人）		3,221千円						
	（配置先：生涯学習課）								
	・報酬		2,222千円						
	・職員手当		401千円						
	・共済費		437千円						
	・旅費		161千円						
	○各種研修会への参加		2千円						
・旅費（普通旅費）									
○事務費		9千円							
・需用費（消耗品費）									
○京丹後市連合婦人会活動補助金		361千円		成果・課題	○社会教育指導員の配置により、各種社会教育事業を円滑に進めることができた。 ○市連合婦人会の活動を支援することにより、女性の自主的な学習活動、ボランティア活動等の推進に寄与した。				
・活動内容：講演会、各種ボランティア、管外研修 ほか									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	159千円		269千円	110千円	59.1 %		課	生涯学習課
	目	02 社会教育推進費					(参考)当初予算額			
	事業	06 人権教育事業					269千円			
基本計画			主な財源	国補 障害者地域生活支援事業費補助金（1/2） 6千円						
22 人権を尊重するまちづくり				府補 障害者地域生活支援事業費補助金（1/4） 3千円						
目的	人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向け、あらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深めるための学習機会を提供するなど人権教育を推進する。			府補 人権問題啓発事業費補助金 60千円						
主要な事務・事業の概要	○人権講演会の開催（人権学習） 120千円			【視覚障害者交流研修会（R5.6.16） 参加者：19人】						
	・講師謝金 11千円			貝がら手作り体験（流木フレーム（中））、館内見学、鳴き砂、漂着ゴミに関する講話						
	・消耗品費（資料用紙） 5千円			（会場：琴引浜鳴き砂文化館）						
	・会場借上料 104千円			○人権教育指導者研修会、交流研修会への参加 18千円						
	【人権教育研究京丹後市大会（R5.8.18） 参加者：298人】			・燃料費 2千円						
	講演「子どもとともに歩む路～人権教育との出会い～」			・バス運転委託料 16千円						
	講師 八幡市立中央小学校 校長 横山 達雄 氏			○その他経費（消耗品） 14千円						
	（会場：京都府丹後文化会館）									
	【夏休み子ども映画会（R5.8.11） 参加者：60人】									
	映画「TANG」の上映									
	（会場：アミティ丹後2階 多目的ホール）									
	○視覚・聴覚障害者交流研修会の開催 7千円			成果・課題	○人権教育研究京丹後市大会や夏休み子ども映画会を通じ、人権学習の機会を提供することができた。また、障害者交流研修会を通じて、障害者の交流及び社会参加の促進につなげることができた。					
	・講師謝金 6千円				○誰もが平等で、人権を尊重する心を身につけ、日常生活の中で無意識に行動できるよう、啓発活動だけでなく学習の機会を充実させる必要がある。					
	・消耗品費 1千円									
	【聴覚障害者交流研修会（R5.10.17） 参加者：15人】									
	モルック、コーヒアート体験									
	（会場：大宮保健センター）									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局													
	項	04 社会教育費	9,673千円		10,012千円	339千円	96.6 %															
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額															
	事業	01 峰山いさなご施設管理運営事業					10,063千円	課	生涯学習課													
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	使用料	公有財産使用料	60千円																
目的	親子のふれあいを含めた世代間の交流体験施設として、生涯学習の機会を提供することにより、市民の生きがいづくり及び健康増進を図るため、峰山林業総合センター（木工体験施設）、いさなご工房（陶芸体験施設）、いさなごコート（屋根付ゲートボール場）を管理運営する。	使用料		峰山林業総合センター使用料	54千円																	
		使用料		峰山いさなご工房使用料	710千円																	
		使用料		峰山いさなごコート使用料	2千円																	
		諸収入		峰山林業総合センター木工教室等材料代	25千円																	
		諸収入	太陽光発電余剰電力料	51千円																		
主要な事業・事業の概要	〇会計年度任用職員任用経費 ・社会教育指導員 1人 ・作業員 2人 （報酬、期末手当、共済費、費用弁償） 〇管理運営経費 ・需用費 （消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） ・役務費（通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、火災保険料） ・委託料（消防設備等保守点検委託料、浄化槽維持管理委託料） ・使用料及び賃借料（テレビ受信料、機械器具借上料） ・備品購入費（丸鋸1台）		6,731千円 2,942千円 2,337千円 175千円 360千円 46千円 24千円		＜利用状況＞																	
					<table><tr><th>区 分</th><th>利用回数</th><th>延べ利用人数</th></tr><tr><td>林業センター</td><td>111回</td><td>755人</td></tr><tr><td>いさなご工房</td><td>235回</td><td>665人</td></tr><tr><td>いさなごコート</td><td>255回</td><td>3,681人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>601回</td><td>5,101人</td></tr></table>			区 分	利用回数	延べ利用人数	林業センター	111回	755人	いさなご工房	235回	665人	いさなごコート	255回	3,681人	合 計	601回	5,101人
					区 分	利用回数	延べ利用人数															
林業センター	111回	755人																				
いさなご工房	235回	665人																				
いさなごコート	255回	3,681人																				
合 計	601回	5,101人																				
成果・課題			施設の管理及び貸し出し、木工・陶芸の指導、定期講座の実施などを通して、市民に学習と交流の機会を提供し、スポーツ・文化活動の振興、健康づくりの推進などに寄与することができた。																			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																													
	項	04 社会教育費	16,591千円		16,830千円	239千円	98.5 %																															
	目	06 社会教育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課																													
	事業	02 マスターリビング 管理運営事業					17,283千円																															
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	使用料	大宮ふれあい工房使用料			1,220千円																													
目的	活力のある長寿社会の実現に向けて、生きがいつくり、ふれあい交流つくり及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進を図るため、大宮ふれあい工房（陶芸、染色体験施設）及びふれあいスポーツ広場等を管理運営する。	使用料	大宮ふれあいスポーツ広場使用料			18千円																																
		諸収入	大宮ふれあい工房関係諸収入			4千円																																
		諸収入	社会教育事業等参加料			66千円																																
主要な事業・事業の概要	○会計年度任用職員（事務補助員・作業員）任用経費（6人）		11,206千円		＜利用状況＞																																	
	・事務補助員 2人				<table><tr><th colspan="2">区 分</th><th colspan="2">延べ利用者数等</th></tr><tr><td rowspan="5">ふれあい工房</td><td>展示室</td><td>利用者数</td><td>3,120人</td></tr><tr><td>会議室</td><td>利用者数</td><td>640人</td></tr><tr><td>陶芸体験</td><td>体験者数</td><td>971人</td></tr><tr><td>染色体験</td><td>体験者数</td><td>391人</td></tr><tr><td>その他</td><td>利用者数</td><td>1,891人</td></tr><tr><td colspan="2">ふれあいスポーツ広場</td><td>利用者数</td><td>4,587人</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td colspan="2">11,600人</td></tr></table>					区 分		延べ利用者数等		ふれあい工房	展示室	利用者数	3,120人	会議室	利用者数	640人	陶芸体験	体験者数	971人	染色体験	体験者数	391人	その他	利用者数	1,891人	ふれあいスポーツ広場		利用者数	4,587人	合 計			11,600人	
	区 分		延べ利用者数等																																			
	ふれあい工房	展示室	利用者数	3,120人																																		
		会議室	利用者数	640人																																		
		陶芸体験	体験者数	971人																																		
		染色体験	体験者数	391人																																		
		その他	利用者数	1,891人																																		
	ふれあいスポーツ広場		利用者数	4,587人																																		
	合 計			11,600人																																		
・作業員 4人																																						
（報酬、期末手当、共済費、費用弁償）																																						
○施設維持管理経費		5,385千円																																				
・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、印刷製本費等）		2,687千円																																				
・役務費（通信運搬費、火災保険料）		152千円																																				
・委託料（電気工作物保安管理委託料、樹木伐採委託料等）		912千円																																				
・使用料及び賃借料（テレビ受信料、清掃用具借上料等）		62千円																																				
・工事請負費（高圧受電設備塗装工事、エアコン更新工事）		1,349千円																																				
・体験事業材料代		223千円																																				
		成果・課題	○陶芸、染色実習室、展示室、会議室及びスポーツ広場の利用提供並びに各種講座及び教室を実施することで、市民の生きがいつくり及び健康増進に寄与することができた。 ○施設の老朽化が進行する中、施設所有者である京都府等と維持管理や運営の在り方等を協議・検討する必要がある。																																			

予算科目	款	06 農林水産業費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																						
	項	01 農業費	9,052千円		9,074千円	22千円	99.7 %		課	生涯学習課																					
	目	02 農業総務費					(参考)当初予算額																								
	事業	03 アグリセンター-管理運営事業					6,827千円																								
基本計画			02 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																												
目的			農業・農村の活性化を目的に設置したアグリセンター大宮を、地域づくり、農業経営体及び地域リーダーの育成、さらには地域住民の福祉や健康の増進を目的とした各種イベントや講演会などに有効活用できるよう適切に維持管理する。																												
主要な事務・事業の概要	○需用費		5,748千円		○備品購入費					104千円																					
	・消耗品費（トイレトーパー、蛍光灯ほか）		110千円		ワイヤレスマイク、消火器（1本）																										
	・燃料費（ガス、灯油）		859千円																												
	・印刷製本費（利用申請書）		37千円		〈利用状況〉																										
	・光熱水費（電気、上下水道代）		2,263千円		<table><tr><th>区 分</th><th>利用回数</th><th>利用人数</th></tr><tr><td>農業技術研修室</td><td>299 回</td><td>2,490 人</td></tr><tr><td>視聴覚教育室</td><td>421 回</td><td>4,388 人</td></tr><tr><td>地域活性化研修室（和室）</td><td>293 回</td><td>2,814 人</td></tr><tr><td>多目的ホール（エントランス含む）</td><td>210 回</td><td>13,590 人</td></tr><tr><td>調理加工実習室</td><td>31 回</td><td>307 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,254回</td><td>23,589 人</td></tr></table>					区 分	利用回数	利用人数	農業技術研修室	299 回	2,490 人	視聴覚教育室	421 回	4,388 人	地域活性化研修室（和室）	293 回	2,814 人	多目的ホール（エントランス含む）	210 回	13,590 人	調理加工実習室	31 回	307 人	合 計	1,254回	23,589 人	
	区 分	利用回数	利用人数																												
	農業技術研修室	299 回	2,490 人																												
	視聴覚教育室	421 回	4,388 人																												
	地域活性化研修室（和室）	293 回	2,814 人																												
	多目的ホール（エントランス含む）	210 回	13,590 人																												
	調理加工実習室	31 回	307 人																												
	合 計	1,254回	23,589 人																												
・修繕料（施設設備）		2,479千円																													
○役務費		70千円																													
・通信運搬費（FAX使用料）		33千円																													
・消火器リサイクル料		4千円																													
・ピアノ調律手数料		13千円																													
・火災保険料		20千円																													
○委託料		3,123千円																													
施設清掃、休日・夜間管理、舞台吊物機構保守点検、移動観覧席保守点検																															
空調設備保守点検、自動ドア保守点検、防虫管理、消防設備点検、特定建																															
建築物建築設備等定期点検																															
○使用料及び賃借料（テレビ受信料）		7千円		成果・課題																											
				○農林業の振興にかかる研修会・講演会をはじめ、生涯学習や福祉など幅広い分野で施設活用ができた。																											
				○平成9年建築の施設で建築後26年が経過しており、設備や機材の老朽化が進行しており、計画的な改修及び適切な維持管理を行う必要がある。																											

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局																								
	項	04 社会教育費	1,896千円	1,958千円	62千円	96.8 %		課	生涯学習課																							
	目	06 社会教育施設費				(参考)当初予算額																										
	事業	04 網野教育会館管理運営事業				1,958千円																										
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源																													
目的	教育及び地域の文化活動・生涯学習の拠点として当該施設を管理運営し、地域住民の各種活動の場を提供するとともに、当該施設の利用の促進を図る。																															
主要な事務・事業の概要	○施設管理運営経費		1,896千円	<table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>延べ利用者数</td></tr><tr><td>1階和室</td><td>118回</td><td>1,106人</td></tr><tr><td>料理実習室</td><td>4回</td><td>86人</td></tr><tr><td>講義室</td><td>70回</td><td>332人</td></tr><tr><td>2階和室</td><td>0回</td><td>0人</td></tr><tr><td>大ホール</td><td>382回</td><td>3,501人</td></tr><tr><td>全 館</td><td>6回</td><td>680人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>580回</td><td>5,705人</td></tr></table>					区 分	利用回数	延べ利用者数	1階和室	118回	1,106人	料理実習室	4回	86人	講義室	70回	332人	2階和室	0回	0人	大ホール	382回	3,501人	全 館	6回	680人	合 計	580回	5,705人
	区 分	利用回数	延べ利用者数																													
1階和室	118回	1,106人																														
料理実習室	4回	86人																														
講義室	70回	332人																														
2階和室	0回	0人																														
大ホール	382回	3,501人																														
全 館	6回	680人																														
合 計	580回	5,705人																														
		・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）	743千円																													
		・役務費（通信運搬費、火災保険料）	51千円																													
		・委託料（浄化槽維持管理業務、消防設備等保守点検業務	660千円																													
		防火対象物定期点検報告業務(不執行)、会館管理業務）																														
		・使用料及び賃借料（テレビ受信料）	14千円																													
		・工事請負費（男子トイレ洋式化工事 和式2個→洋式1個）	412千円																													
		・備品購入費（掃除機1台）	16千円																													
				成果・課題	○人権学習や地域の拠点施設として適正に維持管理することで、施設を活用した効果的な学習及び地域活動を促進することができた。 ○施設の管理方法などの見直しについては、引き続き、地元の意向を聞きながら、検討を進めていく必要がある。																											

京丹後市教育振興計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
文化財保存活用課	村田 雅之
生涯学習課	松本 優

重点目標	6 歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます
基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。 また、市民や団体による主体的な文化芸術活動等を推進することにより、文化の薫り高いまちづくりに寄与します。

1. 施策の方向性

PLAN

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	① 京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育による「丹後学」を積極的に展開します。特に、世界ジオパークに認定された山陰海岸ジオパークの地質遺産を活用し、小学生を対象にフィールド学習を実施します。 ② 子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。 ③ 文化財セミナーや京丹後史博士育成講座、文化財の見学等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図り歴史文化財の普及啓発に努めます。
2. 地域の文化財の総合的な保存と活用	① 市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新、映像記録作成等を通して文化財の保全と活用を図り、伝統芸能を継承していきます。 ② 京丹後市史編さん事業や発掘調査等の文化財調査での成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。 ③ 京丹後市ホームページのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。 ④ 古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡をはじめ、地域文化財の総合的な保存と活用を進めることで郷土への誇りと愛着を培います。併せて文化財保存活用地域計画に基づき、丹後の輝かしい資産を観光や地域振興に積極的に活かします。
3. 資料館施設等の整備充実	① 市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、丹後ちりめん、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。 ② 児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。 ③ 郷土の歴史や文化財の調査を進め特別展示、企画展を開催するとともに貴重な資料を保管し後世に伝えます。 ④ 資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。
4. 文化芸術活動の推進	① 「京丹後市文化芸術振興計画」に基づき、文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、関係機関及び団体と連携し、地域の特色を生かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。 ② 市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館など関係施設を活用して、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実させるとともに、丹後文化会館の改修に向け京都府に対し要望活動を進めます。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備をすすめるための方向性を示すもの	平成18年10月	計画期間の定めなし	
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定
京丹後市文化芸術振興計画	市民が主体となって文化芸術活動に取り組み、楽しみを感じられる文化芸術のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するために策定	令和5年3月	令和5年度～令和14年度	
京丹後市文化財保存活用地域計画	「丹後半島」における多彩な交流・交易、人々の暮らしが生み出した歴史文化や文化財を「光」ととらえ、「光」を未来につなぐ誇りあるまちづくりを進める指針とするもの	令和4年12月	令和5年度～令和9年度	

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照		CHECK	ACT
1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実				決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み				R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)		担当課				
① 京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育による「丹後学」を積極的に展開します。特に、世界ジオパークに認定された山陰海岸ジオパークの地質遺産を活用し、小学生を対象にフィールド学習を実施します。							
② 子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。							
③ 文化財セミナーや京丹後史博士育成講座、文化財の見学等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図り歴史文化財の普及啓発に努めます。							
1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実				決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み				R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)		担当課				
	1 郷土資料館管理運営事業	文化財保存活用課	2,756	2,173	1,716	現状維持	
	市内で収集を続けている民俗資料等を収蔵・調査・公開する資料館として、来館者に本市の文化を紹介し、文化財保護、啓発を図る拠点施設に位置付けており、資料館内外の収蔵資料の調査や整理を行うとともに、学校教育とも連携を図りながら、市内の児童生徒へ向けて郷土の歴史への関心を高める役割も果たす。						
	2 古代の里資料館管理運営事業	文化財保存活用課	13,246	13,353	15,913	現状維持	
	丹後古代の里資料館は、市内の考古、歴史資料を収蔵・調査・公開する資料館であり、来館者に本市の文化財を紹介し、文化財保護、啓発を図る拠点施設として位置付けている。また、学校教育とも連携を図りながら、市内の児童生徒へ向けて、郷土の歴史の関心を高める役割も果たす。						
2. 地域の文化財の総合的な保存と活用				決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み				R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)		担当課				
① 市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新、映像記録作成等を通して文化財の保全と活用を図り、伝統芸能を継承していきます。							
② 京丹後市史編さん事業や発掘調査等の文化財調査での成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。							
③ 京丹後市ホームページのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。							
④ 古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡をはじめ、地域文化財の総合的な保存と活用を進めることで郷土への誇りと愛着を培います。併せて文化財保存活用地域計画を策定し、丹後の輝かしい資産を観光や地域振興に積極的に活かします。							
	3 指定文化財等管理事業	文化財保存活用課	6,737	11,943	9,927	現状維持	
	市内に所在する貴重な文化財を後世に残すために、修理や保全に係る事業に対して補助金を交付するとともに、180件を超える市内指定文化財(国、府、市指定文化財)等を適切に維持管理し、看板設置などにより指定文化財等の普及啓発を図る。						
	4 遺跡整備事業	文化財保存活用課	47,561	53,666	131,028	拡大	
	地域の特色と歴史を物語る重要な史跡等を、教育、観光、地域づくりの資源として有効に活用するため、史跡整備を推進する。網野銚子山古墳の保存・活用に向け史跡整備検討委員会で検討を進め、令和5年度は史跡地内の整理伐採、墳頂部の補修盛土など、環境整備を実施する。						
	5 遺跡発掘調査等事業	文化財保存活用課	5,253	4,642	2,602	現状維持	
	市内に残る遺跡等の適正な保存・活用のため、開発に先立つ発掘調査を実施して開発事業との円滑な調整を図るほか、令和2年度まで実施した網野銚子山古墳の発掘調査の成果を報告書として公表するために、発掘調査の成果をまとめる整理作業を実施する。						
	6 地域文化財総合活用推進事業	文化財保存活用課	4,860	5,227	651	現状維持	
	令和4年12月に文化庁の認定を受けた「京丹後市文化財保存活用地域計画」により、京丹後市の歴史文化や文化財を後世に伝えるため、市民遺産会議を立ち上げるとともに、京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会による進捗管理を行う。						
	7 地域文化財総合活用推進事業【繰越】	文化財保存活用課	692	-	-		
	市内に数多く残る文化財について、指針となる文化財保存活用地域計画の策定を行うことで、市の歴史文化の特色や課題を明らかにするとともに、その課題解決に向け教育、観光、地域づくり等の各分野が地域資源として有効活用につなげる。						
	8 文化財保存活用基金	文化財保存活用課	-	34,586	1	現状維持	
	京丹後市文化財保存活用地域計画に基づき、本市の貴重な文化財の保存及び活用を進めることを目的に、「文化財保存活用基金」に積み立てを行うもの。						
3. 資料館施設等の整備充実				決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み				R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)		担当課				
① 市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、丹後ちりめん、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。							
② 児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。							
③ 郷土の歴史や文化財の調査を進め特別展示、企画展を開催するとともに貴重な資料を保管し後世に伝えます。							
④ 資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。							
	9 郷土資料館管理運営事業《再掲》	文化財保存活用課	-	-	-	現状維持	
	市内で収集を続けている民俗資料等を収蔵・調査・公開する資料館として、来館者に本市の文化を紹介し、文化財保護、啓発を図る拠点施設に位置付けており、資料館内外の収蔵資料の調査や整理を行うとともに、学校教育とも連携を図りながら、市内の児童生徒へ向けて郷土の歴史への関心を高める役割も果たす。						

3. 資料館施設等の整備充実			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
	10 古代の里資料館管理運営事業《再掲》 丹後古代の里資料館は、市内の考古、歴史資料を収蔵・調査・公開する資料館であり、来館者に本市の文化財を紹介し、文化財保護、啓発を図る拠点施設として位置付けている。また、学校教育とも連携を図りながら、市内の児童生徒へ向けて、郷土の歴史の関心を高める役割も果たす。	文化財保存活用課	-	-	-	現状維持
	11 資料館等指定管理施設運営事業 琴引浜鳴き砂文化館において、本市の豊かな自然環境のシンボルである琴引浜の鳴き砂についての展示や様々な体験事業を実施し、普及啓発を行うとともに、世界認定されている山陰海岸ジオパークの拠点施設として、他の関連地域や施設と連携し積極的な事業展開に努める。	文化財保存活用課	8,770	10,204	10,329	現状維持
4. 文化芸術活動の推進			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 文化芸術に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、関係機関及び団体と連携し、地域の特色を生かした文化事業を行うとともに、市民の自発的かつ日常的な文化芸術活動を支援します。						
② 市民の豊かな心を育むため、丹後文化会館など関係施設を活用して、市民が優れた文化芸術に親しむ機会を充実させるとともに、丹後文化会館の改修に向け京都府に対し要望活動を進めます。						
	12 文化芸術事業《再掲》 「文化芸術振興計画(令和4年12月策定)」に基づき、市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう、地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進するため、各種文化芸術活動を支援する。	生涯学習課	-	-	-	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業			決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性
		担当課				
	13 文化財保護審議会委員設置事業 文化財の指定・解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。	文化財保存活用課	185	127	167	現状維持
	14 文化財保護一般経費 文化財の保護と活用を図るため、郷土資料館、丹後古代の里資料館以外に所管している文化財の収蔵施設等の維持管理を適切に行い、各種文化財保護関係団体の活動を推進する。また、市が所蔵する小牧源太郎の絵画を公開し活用を図る。	文化財保存活用課	345	2,281	-	統合(整理)
	15 文化財保存活用一般経費 文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。	文化財保存活用課	-	-	329	統合(整理)
		計	77,159	124,849	156,750	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。 また、市民や団体による主体的な文化芸術活動等を推進することにより、文化の薫り高いまちづくりに寄与します。							
	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
主な目標指標			年度		年度		年度	
	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468 (5事業、17講座)	H25	668	R5	1,700	R6
	資料館、文化館入館者数	人	13,808 (3施設)	H25	10,685	R5	18,000	R6
	史跡整備	遺跡	6	H25	7	R5	8	R6
	京丹後史博士の認定者数	人	-		67	R5	120	R6
	文化協会加盟サークル数	団体	170	H25	112	R5	200	R6
	文化芸術事業の開催回数	回	-	R1	54	R5	100	R6
	京都府丹後文化会館利用者数	人	-	R1	27,122	R5	42,000	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

ACT

進捗状況区分	評価	令和5年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる		《文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数》 新型コロナウイルス感染症の関係で、京丹後史博士育成講座は休止し、京丹後市文化財セミナーは2回開催した(155名)。このほか、外部からの出前講座等の対応を行った(21回、513名)。 今後は、セミナーや講座を通常通り開催し、目標値に近づけるようにしたい。 《資料館、文化館入館者数》 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、丹後古代の里資料館・郷土資料館・鳴き砂文化館は、全体として前年度実績と比べ入館者は微増となった。 今後は、各館ともに対策を講じながら開館、事業実施を行い、集客増につなげていきたい。 《史跡整備》 網野銚子山古墳整備事業は、京丹後市史跡整備検討委員会の検討を進めながら平成29年度には環境整備基本設計を実施し、平成30年度より整備工事を進めている。 令和5年度は、検討委員会で検討を進め、史跡地内の整理伐採、墳頂部の保護盛土など、環境整備を実施した。令和6年度には完成予定である。 《京丹後史博士の認定者数》 令和5年度は講座を開催を1回実施した結果、認定者数が1名増加した。今後は、講座の内容を改編することを視野に入れ、令和6年度も開催予定。 《文化協会加盟サークル数》 コロナ禍による活動の停滞及び会員の高齢化等のため多くの団体が脱退した(加盟団体112団体)。そのような状況の中でも、各加盟団体が実施する教室や大会、市協会が実施する総合文化祭、サークル体験会を通じて、市民へ芸術鑑賞機会を提供することができた。今後も、市民が文化力を高め、加盟サークル数増加にもつながるよう協会を支援する必要がある。 《文化芸術事業の開催回数》 優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の創出に努めたとともに、地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。また、「京丹後市文化芸術振興計画」を適正かつ効果的に推進し、文化芸術によるまちづくりを具体的に進めるため「京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議」が発足した。 《京都府丹後文化会館利用者数》 コロナ禍に落ち込んでいた入場者数は令和5年度によりやく回復の兆しが見えてきたものの、まだホール稼働率はコロナ禍以前の数値には戻っていない。近隣市町と連携し丹後地域全体での利用拡大計画を立てる必要がある。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		
	▲	

5. 今後の施策展開の考え方(令和6年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	令和4年度で策定した京丹後市文化財保存活用地域計画に基づき、庁内や関係団体との連携を図り、多面的な文化財の保存・活用を進める。また文化財セミナー等の講演会、資料館施設での様々な展示、体験事業を開催するとともに、出前講座への積極的な対応も行い、学習する機会の充実を図る。
	2	網野銚子山古墳の整備事業では、墳丘の補修、園路整備、周濠整備のほか、進入道路、駐車場等の整備を行う予定である。これにより、市民や外からの観光客に、日本海側最大の前方後円墳の姿を示し、地域学習や観光スポットとしての活用をはかる。
	3	丹後古代の里資料館、郷土資料館、琴引浜鳴き砂文化館を適切に維持管理するとともに、それぞれ収蔵資料の内容から機能分化し、市民や外からの観光客に、地域学習や観光スポットとしての活用を図る。
	4	市文化芸術振興計画に基づき、関係団体等と連携し、優れた芸術・文化の鑑賞機会の提供、地域の特色を活かした芸術・文化活動を実施並びに支援するとともに、文化活動を支える人材育成を地道に取り組む。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率 91.2 % (参考)当初予算額 2,161千円	部	教育委員会事務局															
	項	04 社会教育費					課	文化財保存活用課															
	目	05 資料館費																					
	事業	01 郷土資料館管理運営事業																					
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進																				
目的		市内で収集を続けている民俗資料等を収蔵・調査・公開する資料館として、来館者に本市の文化を紹介し、文化財保護、啓発を図る拠点施設に位置付けており、資料館内外の収蔵資料の調査や整理を行うとともに、学校教育とも連携を図りながら、市内の児童生徒へ向けて郷土の歴史への関心を高める役割も果たす。	主な財源	使用料 郷土資料館入館料 25千円																			
主要な事務・事業の概要	豊富な残る市所蔵の民俗資料、古文書・典籍・書籍等の適切な保管・公開を行った。			【企画展示・イベント・見学対応】																			
	○郷土資料館の維持管理、展示等に関する経費 2,173千円			<table><tr><th>期 間</th><th>タイトル</th><th>入館者数</th></tr><tr><td>R5.3.4～5.15</td><td>春季企画展「こどもの節句展」</td><td>60人</td></tr><tr><td>R5.8.10</td><td>夏休み体験講座</td><td>22人</td></tr><tr><td>R5.10.23～11.30</td><td>秋季企画展「むかしの装い」</td><td>29人</td></tr><tr><td>R6.2.1～R6.2.28</td><td>小学3年生「昔の暮らし」見学対応</td><td>133人</td></tr></table>					期 間	タイトル	入館者数	R5.3.4～5.15	春季企画展「こどもの節句展」	60人	R5.8.10	夏休み体験講座	22人	R5.10.23～11.30	秋季企画展「むかしの装い」	29人	R6.2.1～R6.2.28	小学3年生「昔の暮らし」見学対応	133人
	期 間	タイトル	入館者数																				
	R5.3.4～5.15	春季企画展「こどもの節句展」	60人																				
	R5.8.10	夏休み体験講座	22人																				
	R5.10.23～11.30	秋季企画展「むかしの装い」	29人																				
	R6.2.1～R6.2.28	小学3年生「昔の暮らし」見学対応	133人																				
	・維持管理経費 1,393千円			【入館者数・推移】																			
	(燃料、光熱水費、修繕、通信費、火災保険料)			<table><tr><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>75人</td><td>215人</td><td>321人</td><td>325人</td></tr></table>					R2	R3	R4	R5	75人	215人	321人	325人							
	R2	R3	R4	R5																			
75人	215人	321人	325人																				
・施設保守管理経費(貯水槽、浄化槽、消防設備) 184千円			成果・課題 ○民俗資料・典籍等の公開、2回の企画展の開催、夏休み体験講座を実施するなど、昔のくらしや道具を中心とする民俗文化財について広く知っていただく機会を提供した。 ○市内小学校の社会科見学の受け入れを行い、実際に触れながら学び、学習効果を高めることができた。 ○常設展示の配置や展示資料の解説内容などの改善していくことが課題である。また、京丹後市文化財保存活用地域計画に即した食文化の展示なども検討する必要がある。																				
・施設警備委託料 86千円																							
・使用賃借料(コピー機借上料、テレビ受信料) 163千円																							
・その他事務経費(消耗品) 183千円																							
・原材料費(組紐体験用の材料) 5千円																							
・備品購入費(消火器1本) 5千円																							
・廃消火器処理手数料 1千円																							
・漏水調査手数料 153千円																							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費					99.8 %		
	目	07 文化財保護費	11,943千円		11,962千円	19千円	(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	02 指定文化財等管理事業					10,953千円		
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 3,284千円				
					府補 京都府指定・登録文化財等補助金（1/2） 53千円				
目的			市内に所在する貴重な文化財を後世に残すために、修理や保全に係る事業に対して補助金を交付するとともに、180件を超える市内指定文化財（国、府、市指定文化財）等を適切に維持管理し、看板設置などにより指定文化財等の普及啓発を図る。						
主要な事業・事業の概要	○京丹後市指定文化財等補助金		14件	2,500千円	○指定文化財等維持管理費		1,124千円		
	(内訳)・国、府指定登録文化財補助金該当		7件	1,885千円	・国府市指定史跡等草刈委託料（神明山古墳ほか4件）		537千円		
	・京都府社寺等文化資料保全補助金該当		7件	615千円	・文化財施設環境美化委託料（竹野神社周辺ほか10件）		470千円		
	神社・寺院や覆屋等の修理、民俗芸能の道具の修理・新調などを支援。				・文化財施設光熱水費（丹後震災記念館電気代）		5千円		
	＜参考＞【令和4年度実績】補助件数：12件 補助金額：2,390千円				・指定文化財施設火災保険料（旧口大野村役場ほか4件）		35千円		
					・土地借上料（史跡、文化財看板設置土地借上料）		3千円		
	○コウノトリ緊急対応関係経費			364千円	・震災記念館自動火災報知機維持管理（電話代、設備点検）		43千円		
	国指定特別天然記念物のコウノトリが市内3か所で営巣したため、モニタリング監視員を置き、観察・記録を行うとともに、個体識別のための足環装着を実施した。（期間：令和5年4月4日～6月19日）				・郷村断層（樋口）樹木伐採委託料		31千円		
	○湯舟坂2号墳出土金属製品保存科学処理委託事業			5,054千円	○文化財関連看板等工事請負事業		361千円		
	・保存科学処理委託料			4,998千円	・文化財説明看板修繕費（浜詰遺跡説明看板ほか1件）		129千円		
・協議旅費			56千円	・浜詰遺跡復元住居修繕		232千円			
国指定重要文化財の湯舟坂2号墳出土品のうち破損等が認められる鉄製品等を保存処理し計265点分の安定台を製作する。（4か年計画の2年目）				成果・課題	○市内に数多く残る文化財の保全のために修理等への補助金を交付し、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。 ○コウノトリの営巣に伴い必要な保護活動を行い、コウノトリの個体保護に寄与することができた。 ○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学等の利用促進につながった。 ○文化財案内看板等の計画的な整備に努め、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。				
○丹後震災記念館周辺樹木伐採及び絵画の補修			2,540千円						
・樹木伐採委託料			1,023千円						
・絵画修繕料、運搬料			1,517千円						
(伊藤快彦作の油絵3点の修復、3か年事業の1年目)									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費					99.8 %		
	目	07 文化財保護費	53,666千円		53,752千円	86千円	(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	03 遺跡整備事業					53,884千円		
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2） 20,525千円				
					市債 遺跡整備事業債（過疎債） 32,100千円				
目的			地域の特色と歴史を物語る重要な史跡等を、教育、観光、地域づくりの資源として有効に活用するため、史跡整備を推進する。 網野銚子山古墳の保存・活用に向け史跡整備検討委員会で検討を進め、令和5年度は史跡地内の整理伐採、墳頂部の補修盛土など、環境整備を実施する。						
主要な事業・事業の概要	○史跡整備検討委員会経費 201千円				○環境維持関係経費 714千円				
	・報酬 史跡整備検討委員会委員報酬 132千円 （3回開催、委員15人）				・委託料 網野銚子山古墳周辺下草刈委託料 714千円				
	・旅費 史跡整備検討委員会委員費用弁償 69千円								
	○網野銚子山古墳整備事業費 52,751千円								
	・旅費 文化庁調査官指導旅費、協議旅費 60千円								
	・需用費 消耗品費 24千円								
	・委託料 実施設計委託料 9,415千円								
	工事監理委託料 1,540千円								
	測量委託料 1,746千円								
	・工事請負費 環境整備工事費 39,966千円								
	【令和5年度整備内容】 古墳及び周辺の整理伐採、墳丘の補修盛土、萱石復元、周溝表示								
	国史跡網野銚子山古墳について、平成23年度に策定した整備基本計画に基づき、史跡の保存を図りつつ整備工事を行った。 ※京丹後市史跡整備検討委員会、文化庁等関係機関の指導を受け実施（令和6年度完成予定）				成果・課題	○網野銚子山古墳については、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事を進めることができた。 ○墳丘及びその周辺に関する整備工事は復元埴輪設置を除き完了することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	4,642千円		4,729千円	87千円	98.1 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	04 遺跡発掘調査等事業					4,458千円		
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	国補 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金（1/2） 2,000千円 府補 埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4） 1,000千円				
目的			市内に残る遺跡等の適正な保存・活用のため、開発に先立つ発掘調査を実施して開発事業との円滑な調整を図るほか、令和2年度まで実施した網野銚子山古墳の発掘調査の成果を報告書として公表するために、発掘調査の成果をまとめる整理事業を実施する。						
主要な事業・事業の概要	○網野銚子山古墳発掘調査経費 3,767千円 ・会計年度任用職員任用経費（2人） 2,678千円（報酬、期末手当、共済費、費用弁償） ・報償費（網野銚子山古墳原稿作成謝金）3人 110千円 ・旅費（調査旅費、宿泊費、協議旅費） 36千円 ・需用費（消耗品） 123千円 ・報告書印刷製本費（300部） 528千円 ・役務費（通信運搬費） 1千円 ・遺物写真撮影業務委託料 204千円 ・使用賃借料（パソコン借上料） 87千円 ＜調査概要＞ 【網野銚子山古墳（整理事業のみ）】 平成28年度～令和2年度に実施した発掘調査出土遺物の整理や、遺物実測図の作成・トレース、埴輪の復元作業、遺物写真撮影の委託、報告書原稿作成、報告書刊行作業等を実施した。成果は、令和6年3月刊行の報告書『網野銚子山古墳-整備事業に伴う発掘調査Ⅱ-』に掲載し、専門家に依頼し実施した埴輪の理化学調査や考察等も掲載した。				○田村関遺跡発掘調査経費 875千円 ・会計年度任用職員任用経費（報酬、費用弁償）4人 491千円 ・需用費（消耗品、燃料代） 23千円 ・発電機借上料 26千円 ・重機借上料 311千円 ・水中ポンプ購入（1台） 24千円 ＜調査概要＞ 【田村関遺跡（現地調査 令和5年10月2日～11月9日久美浜町）】 府営ほ場整備計画に先立ち、遺跡の広がりを確認するため16か所で調査を行った。6か所で、杭の検出や遺物の出土などが見られた。整理事業及び報告書作成は令和6年度実施予定である。				
					成果・課題	○田村関遺跡（久美浜町田村）の発掘調査では、ほ場整備前に遺跡の広がりや遺構の深度等を確認することができた。 ○網野銚子山古墳（網野町網野）では、整理事業、写真撮影委託、報告書原稿作成及び専門家による執筆作業等を進め、報告書を発刊することができた。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	5,227千円		5,422千円	195千円	96.4 %		
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	05 地域文化財総合活用推進事業					5,422千円		
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源 国補 デジ 外田園都市国家構想交付金（1/2） 2,544千円				
目的			令和4年12月に文化庁の認定を受けた「京丹後市文化財保存活用地域計画」により、京丹後市の歴史文化や文化財を後世に伝えるため、市民遺産会議を立ち上げるとともに、京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会による進捗管理を行う。						
主要な事業・事業の概要			○文化財保存活用地域計画推進協議会開催経費（委員15人） 114千円 文化財関係者や商工・観光関係者等が参画する推進協議会を開催し、文化財保存活用地域計画による令和5年度事業に関する進捗管理を行った。 ・委員謝金 半日×2回 （4,000円×延べ22人） 88千円 ・委員費用弁償 26千円						
			○市民遺産会議開催経費（委員5人） 25千円 市民が後世に語り継ぐ歴史文化を認定する「京丹後市市民遺産制度」を令和6年1月に設立し、認定審議を行う市民遺産会議を令和6年2月に発足した。 ・委員謝金 半日×1回 （4,000円×5人） 20千円 ・委員費用弁償 5千円						
			○京丹後歴史文化めぐりマップ開設経費 5,088千円 文化財保存活用地域計画に示した11のストーリーを紹介するデジタルイラストマップを作成し、WEB上で地域文化財の公開及び来訪者に関連文化財群の周遊を促す「京丹後歴史文化めぐりマップ」を開設した。 ・WEBマップ作成 4,883千円 ・看板用QRコード制作及び貼付け 51千円 ・印刷製本費（チラシ、ポスター、カード） 154千円						
			成果・課題	○推進協議会や市民遺産会議の開催、京丹後歴史文化めぐりマップの開設により、京丹後市文化財保存活用地域計画で示した本市の歴史文化を掘り起こし広く周知するとともに保存活用をより一層推し進めることができた。 ○今後は、計画全体の評価方法の検討や、京丹後歴史文化めぐりマップのスタンブラリー機能の活用等を推進する必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	34,586千円	34,586千円	0千円	100.0 %		
	目	07 文化財保護費				(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	06 文化財保存活用基金				0千円		
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源	財産収入 文化財保存活用基金利子収入 1千円 寄附金 ふるさと応援寄附金 24,585千円			
目的	京丹後市文化財保存活用地域計画に基づき、本市の貴重な文化財の保存及び活用を進めることを目的に、「文化財保存活用基金」に積み立てを行うもの。							
主要な事業・事業の概要	京丹後市文化財保存活用基金条例を制定し、一般財源やふるさと応援寄附金からの積み立てを行った。							
	○文化財保存活用基金積立金		34,586千円					
	(単位：千円)							
	令和4年度末 現在高 ①	令和5年度中増減額			令和5年度末 現在高 ①-②+③+④			
		繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④				
	0	1	34,585	34,586				
	成果・課題							

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局								
	項	04 社会教育費	10,204千円	10,205千円	1千円	99.9 %											
	目	05 資料館費				(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課									
	事業	03 資料館等指定管理施設運営事業				10,195千円											
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源													
目的	琴引浜鳴き砂文化館において、本市の豊かな自然環境のシンボルである琴引浜の鳴き砂についての展示や様々な体験事業を実施し、普及啓発を行うとともに、世界認定されている山陰海岸ジオパークの拠点施設として、他の関連地域や施設と連携し積極的な事業展開に努める。																
主要な事業・事業の概要	鳴き砂や環境保全の学習施設として設置し、指定管理者制度により、琴引き浜鳴り砂を守る会が管理運営を行った。環境学習のための教育施設であるとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する観光施設としても重要な拠点と位置付けている。		【入館者数・推移】														
			<table><tr><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>6,055人</td><td>6,443人</td><td>7,692人</td><td>7,936人</td></tr></table>				R2	R3	R4	R5	6,055人	6,443人	7,692人	7,936人			
	R2	R3	R4	R5													
	6,055人	6,443人	7,692人	7,936人													
	○琴引浜鳴き砂文化館指定管理委託料		8,714千円														
	○使用料及び賃借料		1,287千円														
・駐車場用地の一部にある民間土地借上料（518.81㎡）																	
・建物の所有者である公益財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料																	
○備品購入（顕微鏡3台）		203千円															
・ケニスズーム式実体顕微鏡1台																	
・小型双眼実体顕微鏡2台																	
				成果・課題	○各種視察受け入れやジオパーク関連事業、ガイド事業への支援・協力、「丹後学」をはじめとする市内学校の見学対応などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。 ○施設修繕を計画的に実施し、適正な管理運営に努める必要がある。												

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 社会教育費	127千円		213千円	86千円	59.6 %		課	文化財保存活用課
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額			
	事業	01 文化財保護審議会委員設置事業					213千円			
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進		主な財源					
目的	文化財の指定・解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。									
主要な事務・事業の概要	○文化財保護審議会の開催経費					86千円				
	文化財指定、市指定文化財の管理、現状変更に関する事項や、文化財関係事業等を検討するため審議会を開催。（委員定数：10人）									
	・報酬（半日×2回、4千円×延べ19人）					76千円				
	・費用弁償					10千円				
	○両丹文化財保護連絡協議会開催経費					41千円				
	令和5年度は与謝野町で開催（令和5年11月1日）									
	場所：与謝野町加悦保健センター「元気館」2階研修室									
	参加者：京都府北部の各市町の文化財に携わる委員及び担当職員									
	テーマ：「郷土の文化財に関する発表」									
	「郷土の文化財」に関する事例発表により情報交換を行った。また、海の京都DMOの福井誠氏に記念講演をいただき知見を深めた。									
	・報酬（半日、4千円×9人）					36千円	成果・課題	○令和7年度に新規の市指定文化財を指定するために、審議会において意見を聴取し検討を深めることができた。 ○両丹文化財保護連絡協議会に参加し、各市町の事例発表を通して京都府北部の文化財を取り巻く課題について共有することにより連携を深めることができた。		
	・費用弁償					5千円				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費	2,281千円		2,380千円	99千円	95.8 %		課
	目	07 文化財保護費					(参考)当初予算額		
	事業	50 文化財保護一般経費					2,948千円		
基本計画			28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進	主な財源					
目的	文化財の保護と活用を図るため、郷土資料館、丹後古代の里資料館以外に所管している文化財の収蔵施設等の維持管理を適切に行い、各種文化財保護関係団体の活動を推進する。 また、市が所蔵する小牧源太郎の絵画を公開し活用を図る。								
主要な事務・事業の概要	○文化財収蔵施設維持管理費（5か所） 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 十楽収蔵庫（久美浜町十楽） 網野出土遺物収蔵庫（網野町網野） 旧成路分校（峰山町鱒留） 旧三重保育所（大宮町三重） 高嶋寮（丹後町上野） ・光熱水費、火災保険料、草刈委託料、消耗品費 ・消防設備等保守点検委託料			190千円 184千円 6千円	○高濃度PCB廃棄処理（網野出土品収蔵庫） ・PCB運搬料 ・PCB廃棄処理委託料 ○印刷製本費 小牧源太郎展チラシ・ポスター印刷製本費 会期：令和5年10月21日～令和5年11月12日 会場：大宮ふれあい工房 来場者数：436人				
	○文化財関係加盟団体経費 ・全国史跡整備市町村協議会・近畿地区協議会 ・全国鳴き砂ネットワーク			70千円 50千円 20千円	○専門家現地調査謝金 市指定文化財候補の調査に関する謝金				
	○事務経費 国・府との協議、研修会出席旅費、有料道路使用料 ・全国史跡整備市町村協議会臨時大会出席旅費（担当職員1人） 開催日：令和5年11月1日 東京都 内 容：陳情活動 ・文化財調査、協議等			79千円	成果・課題	○旧網野町時代の収蔵庫から高濃度PCBが見つかったため、安全のため廃棄処理を実施した。 ○文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。 ○市が所蔵する小牧源太郎氏の作品を一般公開することで、文化財の普及啓発を図った。			

京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	上羽 正行
生涯学習課	松本 優

重点目標	7	たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します
基本の方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。 食育は、生きるうえでの基本であり、知育、徳育及び体育の基礎となるものであることから、子どもたちが、自然の恩恵や「食」に関わる人々への感謝、理解を深めるとともに「食」に関する適切な判断力を身に付けることを目指します。	

1. 施策の方向性

PLAN

1. 健康な体づくり	① 子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。 ② 喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。 ③ 児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の教育活動全体を通じて一貫した体育指導を進めます。 ④ 学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用し、子どもの体力・運動能力の向上につながる取組みを進めます。
2. 食育の推進	① 幼児、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、給食を生きた教材として活用するとともに、横断的な食育指導の充実を図ります。 ② 地域の伝統的な食文化への理解を深め、郷土に関心を寄せる心を育むため、給食の献立に地元食材や郷土食を積極的に取り入れます。 ③ 体験学習や調理実習等の活動を通じて、「食」への感謝の気持ちを育むため、家庭や地域、地元生産者等と連携した食育の取組みを一層推進します。
3. 地域スポーツ活動の推進	① スポーツ推進委員をはじめ公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事への協力等、スポーツの普及を図ります。 ② 市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動及び組織強化を支援します。 ③ 市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するため、市民総参加型スポーツイベント「京丹後チャレンジデー」を開催するなど、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。 ④ 障害のある人や配慮が必要な様々な人が、障害の種類や程度に応じて、身近な地域で皆と一緒に楽しくするニュースポーツの普及推進に努めます。
4. 競技力の向上	① 学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。 ② 体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。 ③ 市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、ホストタウン相手国のオリンピックを含む体表選手など、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。 ④ 青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。
5. 社会体育施設等の整備充実	① 社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。 ② 社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設は廃止するなど、全体のバランスを考慮した施設の配置を進めます。 ③ あらゆるスポーツの基礎となる陸上の競技力向上及びスポーツ交流人口の拡大を図るため、峰山途中ヶ丘公園陸上競技場の第3種公認陸上競技場としての整備を推進します。
6. スポーツ観光のまちづくり	① 自然豊かな地域とスポーツ資源を活用したスポーツイベントの開催、ジオパークの魅力を活用したアクティビティの場や機会を提供することで、より多くの方々が気軽にスポーツができる環境づくりにつなげ、多面的なスポーツ施策の展開を図ります。 ② スポーツを支えるスポーツボランティアの確保に向けた取組みを推進します。 ③ 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人アスリートなど、国際社会との交流を進める「ホストタウン」の取組みと、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催を通じ、文化交流や地域の活性化を図ります。

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市スポーツ推進計画	年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がその適正なライフステージに応じてスポーツに参画できるよう、中長期的な展望に立った「京丹後市スポーツ推進計画」を策定するもの	平成26年3月	平成26年度～平成29年度	第2次京丹後市スポーツ推進計画(平成30年度～令和9年度)

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力を全ての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照	CHECK	ACT
1. 健康な体づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額			R5決算額	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		R6予算額			評価を踏まえた今後の方向性	
① 子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。						
② 喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。						
③ 児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の教育活動全体を通じて一貫した体育指導を進めます。						
④ 学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用し、子どもの体力・運動能力の向上につながる取組を進めます。						
1. 健康な体づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額			R5決算額	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		R6予算額			評価を踏まえた今後の方向性	
1 保幼小中一貫教育推進事業《再掲》		学校教育部				
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、保幼小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。		-			統合(整理)	
2. 食育の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額			R5決算額	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		R6予算額			評価を踏まえた今後の方向性	
① 幼児、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、給食を生きた教材として活用するとともに、横断的な食育指導の充実を図ります。						
② 地域の伝統的な食文化への理解を深め、郷土に関心を寄せる心を育むため、給食の献立に地元食材や郷土食を積極的に取り入れます。						
③ 体験学習や調理実習等の活動を通じて、「食」への感謝の気持ちを育むため、家庭や地域、地元生産者等と連携した食育の取組を一層推進します。						
3. 地域スポーツ活動の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額			R5決算額	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		R6予算額			評価を踏まえた今後の方向性	
① スポーツ推進委員をはじめ公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事への協力等、スポーツの普及を図ります。						
② 市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動及び組織強化を支援します。						
③ 市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するため、市民総参加型スポーツイベント「京丹後チャレンジデー」を開催するなど、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。						
④ 障害のある人や配慮が必要な様々な人が、障害の種類や程度に応じて、身近な地域で皆と一緒に楽しめるニュースポーツの普及推進に努めます。						
2 スポーツ推進委員活動事業		生涯学習課				
市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツ振興を図る。また、スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会や研究大会に参加する。		3,133			3,316	
3 保健体育総務一般経費		生涯学習課				
スポーツ基本法に基づいて設置するスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ活動の推進を図る。また、社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、全国大会等出場者激励会の開催や懸垂幕を設置するなど、優れた成績を収めた選手を讃え、スポーツ推進の機運を高める。		3,268			3,108	
4 地域スポーツ推進事業		生涯学習課				
市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、体力の向上や健康づくり等、年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会を提供するほか、市総合スポーツ大会の開催、京都府民総合体育大会への出場を支援する等、スポーツ人口の拡大とスポーツを通じた交流機会を確保する。		6,629			6,863	
					6,281	
4. 競技力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		R4決算額			R5決算額	
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)		R6予算額			評価を踏まえた今後の方向性	
① 学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。						
② 体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。						
③ 市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、ホストタウン相手国のオリンピックを含む体表選手など、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。						
④ 青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。						
5 社会体育団体育成事業		生涯学習課				
市民へのスポーツの普及と振興を図るため、中核的な役割を担う(一社)京丹後市スポーツ協会の活動を支援する。また、京丹後市青少年スポーツ協会の活動を支援することで、青少年の健全育成と体力の向上を図る。		19,297			19,073	
					19,290	

5. 社会体育施設等の整備充実			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。						
② 社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設は廃止するなど、全体のバランスを考慮した施設の配置を進めます。						
③ あらゆるスポーツの基礎となる陸上の競技力向上及びスポーツ交流人口の拡大を図るため、峰山途中ヶ丘公園陸上競技場の第3種公認陸上競技場としての整備を推進します。						
6 体育施設管理運営事業		生涯学習課	182,249	54,837	44,367	現状維持
市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。						
7 社会体育用学校開放施設管理運営事業		生涯学習課	2,725	1,533	1,471	現状維持
地域の身近な施設である学校体育施設を開放及び維持管理することにより、市民のレクリエーション活動や各種サークル活動、また、青少年スポーツ教室や各種スポーツ競技団体の活動等の促進を図る。						
8 久美浜湾カヌーセンター管理運営事業		生涯学習課	5,116	3,610	2,233	現状維持
豊かな自然の中で、カヌーを通して市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健康づくりに資するとともに、本市のスポーツ活動の拠点の一つとして地域の活性化に資するため、カヌーセンターの管理運営を行う。						
9 都市公園等維持整備事業		生涯学習課	48,498	74,502	52,420	現状維持
都市公園を適正に維持管理し、市民が快適で安全・安心に利用できるようにする。						
6. スポーツ観光のまちづくり			決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み			R4決算額	R5決算額	R6予算額	評価を踏まえた 今後の方向性
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 自然豊かな地域とスポーツ資源を活用したスポーツイベントの開催、ジオパークの魅力を活用したアクティビティの場や機会を提供することで、より多くの方が気軽にスポーツができる環境づくりにつなげ、多面的なスポーツ施策の展開を図ります。						
② スポーツを支えるスポーツボランティアの確保に向けた取組みを推進します。						
③ 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人アスリートなど、国際社会との交流を進める「ホストタウン」の取組みと、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催を通じ、文化交流や地域の活性化を図ります。						
10 スポーツイベント推進事業		生涯学習課	5,784	8,596	5,148	現状維持
観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。						
11 ワールドマスターズゲームズ関西推進事業		生涯学習課	1,749	2,213	2,864	現状維持
ワールドマスターズゲームズ関西(WMG)関連事業開催を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、障害者スポーツの基盤づくり、スポーツによる地域の活性化を図る。						
			計	278,448	177,651	141,698

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。 食育は、生きるうえでの基本であり、知育、徳育及び体育の基礎となるものであることから、子どもたちが、自然の恩恵や「食」に関わる人々への感謝、理解を深めるとともに「食」に関する適切な判断力を身に付けることを目指します。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時	実績値(現状)	目標値			
			年度	年度	年度	年度	年度	
	朝食を毎日食べる児童の割合＜小学校＞	%	97.8 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	H25	94.8	R5	100	R6
	朝食を毎日食べる生徒の割合＜中学校＞	%	91.1 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	H25	92.6	R5	95%以上	R6
	平日、午前7時より前に起きる児童の割合＜小学校＞	%	88.4 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	H25	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	R5	100	R6
	平日、午前7時より前に起きる生徒の割合＜中学校＞	%	77.2 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	H25	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	R5	95%以上	R6

	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
				年度		年度		年度
主な目標指標	平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合＜小学校＞	%	91.6 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙	H25	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	R5	100	R6
	平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合＜中学校＞	%	45.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙	H25	全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし	R5	90%以上	R6
	小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中7種目	H25	8種目中5種目	R5	全種目	R6
	中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中4種目	H25	8種目中4種目	R5	全種目	R6
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6 市民アンケート調査結果	H24	33.3	R5	65.0 (国の目標)	R6
	京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6 京都府民総合体育大会結果	H25	7	R5	10	R6
	公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253 公共施設利用状況調査結果	H24	13,862	R5	14,000	R6
	スポーツイベント参加者数	人	-	R1	12,078	R5	18,600	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

ACT

進捗状況区分	評価	令和5年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	《朝食を毎日食べる児童生徒の割合》 朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小中学生ともに減少したが、高い水準で推移している。各校園における家庭向けの啓発及び児童生徒への丁寧な指導により確実に定着してきているが、朝食を食べていない児童生徒がいることにも注視し、今後も保護者との連携を更に密にすることで、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取組を進めていく必要がある。 《平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合》 全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし。 《平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合》 全国学力・学習状況調査及び京都府学力テストの児童生徒質問項目から外れたためデータなし。 《小学生（5年生）の体力テスト全国平均以上》 握力、上体起こし、長座体前屈が全国平均を下回った。男子の握力の数値は全国を上回っている。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通した体力づくりの取組等により、意識的に課題のある筋力・柔軟性などの運動能力について克服していく必要がある。 《中学生（2年生）の体力テスト全国平均以上》 令和5年度については、握力、上体起こし、長座体前屈、ハンドボール投げなどの筋力、柔軟性、投力を図る項目が全国平均を下回った。その他の項目に関しては全国平均を上回っている。引き続き、課題を踏まえ、体育科を含む各校の教育活動全体を通した体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。 《成人の週1回以上のスポーツ実施率》 徐々に地域での社会体育の取組を進めつつあるが、コロナ渦以前の実施状況には戻っていない。健康増進と体力の向上を図るためスポーツ推進委員会が中心となって開催する地域でのニュースポーツ教室やノルディックウォーキング教室等を開催し、参加者を増やす工夫が必要である。 《京都府民総合体育大会入賞競技数》 令和5年度から、法人化した市スポーツ協会が本格的に運営を開始した。新型コロナウイルス感染症も落ち着き、7競技が入賞を果たした。今後も競技力の向上を目指し、入賞競技数の増を目指す。また、将来性を有するジュニアアスリートを養成する支援体制を整えることが重要である。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

		令和5年度成果と今後の課題
		《公共スポーツ施設の利用回数》 令和4年度の無料開放時は、多くの利用があったが、無料開放が終了した今年度については、利用回数が少し減少したが、コロナ禍以前の水準に比べると増加している。 今後は、公共施設の見直し計画による施設の集約化や指定管理者制度の導入等、より市民のニーズに則した施設環境づくりとスポーツ機会の提供が求められる。 《スポーツイベント参加者数》 令和5年度については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、予定していたスポーツイベントは、すべて開催することができ、スポーツ観光のまちづくりを推進するためのスポーツができる環境を提供することができた。今後も引き続き、各種イベントについて、地域資源を取り入れながら、参加者増と地域活性を図る必要がある。

5. 今後の施策展開の考え方(令和6年度での主な取組)

ACT

区分	No.	具 体 的 内 容
施策展開の考え方	1	子どもたちの基本的な生活習慣を確立させるため、学校園が連携し、発達段階に応じた指導を継続するとともに、丹後学を通じた学習や、地産地消・給食指導など、家庭、地域と連携した食育の取組を更に推進する。
	2	市民のニーズに合ったスポーツの推進や、各地区の事業やPTA活動への協力を行うなど、関係団体等と連携しながら、多くの人がスポーツに親しめる機会を設ける。
	3	京丹後市スポーツ協会の更なる組織強化や事業充実等に向けた支援を継続し、各種スポーツ大会の実施や府民総合体育大会への出場選手の拡大を図り、競技力の向上を目指す。
	4	市内には多くの社会体育施設が点在しているが、地域の大切なコミュニティの場としての役割も大きいため、計画的な施設の修繕を実施する一方、利用が少ない施設の維持管理などについて見直しを行う。
	5	交流人口の増加等、地域活性化を図るため、事業効果の高いスポーツイベントを推進するとともに、WMG関西に向けた準備や取組を推進する。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	3,316千円		3,566千円	250千円	92.9 %		
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 スポーツ推進委員活動事業					3,566千円		
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源				
目的	市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツ振興を図る。 また、スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会や研究大会に参加する。								
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進委員報酬（50千円×49人）		2,450千円		＜活動内容＞ ・ノルディック・ウォーキング体験会 年間13回、延べ243人参加 ・ニュースポーツ体験会（ビーチボールバレー、モルックほか） 年間85回、延べ893人参加 ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導（ノルディック・ウォーキング、モルック、体力テストほか） ・スポーツ大会への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか）				
	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）		568千円						
	○需用費（消耗品費等） ・機関誌購読料、広報用カラーペーパー		28千円						
	○役務費（スポーツ安全保険料）		89千円						
	○委託料（バス運転委託料） ・京都府スポーツ推進委員研究大会（宮津市） ・近畿スポーツ推進委員研究協議会（大阪府堺市）		96千円						
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）		15千円		成果・課題	○ノルディック・ウォーキング体験会、ビーチボールバレー、モルックなどのニュースポーツの普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後も、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、地区公民館等への働きかけ、連携を強化する必要がある。			
	○負担金、補助及び交付金 ・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金		70千円 44千円 26千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	3,108千円		3,286千円	178千円	94.5 %			
	目	01 保健体育総務費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	50 保健体育総務一般経費					3,148千円			
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源						
目的	スポーツ基本法に基づいて設置するスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ活動の推進を図る。 また、社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、全国大会等出場者激励会の開催や懸垂幕を設置するなど、優れた成績を収めた選手を讃え、スポーツ推進の機運を高める。									
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進審議会に関する経費 ・審議会委員報酬：12人、開催回数：4回 ・費用弁償 ＜スポーツ推進審議会の主な内容＞ 第1回（5月25日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の進捗状況について ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて 第2回（7月25日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて ・目標数値、施策体系について 第3回（10月30日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて ・計画の目標、見直しについて 第4回（11月20日） ・第2次京丹後市スポーツ推進計画の見直しについて 【第2次京丹後市スポーツ推進計画】※令和5年度中間見直しを実施 計画期間：平成30年度～令和9年度（10年間）			178千円 152千円 26千円	○会計年度任用職員任用経費 （スポーツ推進室：事務補助員1人） ○社会体育に関する事務経費 ・全国大会等出場懸垂幕作成経費等					2,820千円 110千円 110千円
				成果・課題	○「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の現状と課題を把握し、計画の中間見直しを行った。 ○今後は、計画に掲げた基本目標及び目標値の実現に向けて、施策を推進する必要がある。					

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	6,863千円		7,119千円	256千円	96.4 %			
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事業	02 地域スポーツ推進事業					7,919千円			
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	デン 外田園都市国家構想交付金（1/2）598千円					
目的			市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、体力の向上や健康づくり等、年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会を提供するほか、市総合スポーツ大会の開催、京都府民総合体育大会への出場を支援する等、スポーツ人口の拡大とスポーツを通じた交流機会を確保する。		府補 きょうと地域連携交付金（スポーツ外推進事業）2,500千円 繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金238千円 諸収入 スポーツ大会参加料18千円					
主要な事務・事業の概要	○報償費（はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金等）		23千円	＜大会等実施状況＞						
	○旅費		5千円	大会名						
	○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費）		143千円	開催日						
	○委託料		1,258千円	参加者等						
	・市長杯争奪中学校野球大会開催委託料		100千円	京丹後市総合スポーツ大会5/1～2/2912競技、1,185人						
	・ジュニアカヌースプリント大会運営委託料		840千円	市長杯争奪中学校野球大会5/27(土)、28(日)市内5校						
	・京丹後市民陸上記録会運営委託料		300千円	ジュニアカヌースプリント春季・秋季大会5/20(土)・10/21(土)春季：37人・秋季：中止						
	・弥栄町文化祭駅伝大会バス運行委託料		18千円	京丹後チャレンジデー20235/31(水)参加率56.5%、29,381人						
	○有料道路通行料		6千円	北近畿中学生ソフトテニス大会6/4(日)6市1町15校75ペア						
	○負担金、補助金及び交付金		4,093千円	京丹後市民陸上記録会7/9(日)130人						
	・京都府民総合体育大会派遣費補助金		2,500千円	京都府民総合体育大会8月～2月14競技参加、入賞7競技						
	・京丹後市総合スポーツ大会開催補助金		1,500千円	弥栄町文化祭駅伝大会11/3(祝)6チーム、48人						
	・京丹後チャレンジデー実行委員会補助金		93千円	はしうど杯卓球選手権大会12/9(土)2市1町、8校、97人						
	○野村克也メモリアル事業		1,335千円	野村克也講演会3/23(土)150人						
	・野村克也講演会に係る講師謝金（福本豊氏、山田雅人氏）		790千円	成果・課題	市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。					
	・野村克也講演会開催経費（消耗品費、食糧費、印刷製本費、会場使用料等）		195千円							
・野村克也杯学童野球大会実行委員会補助金		350千円								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	05 保健体育費	54,837千円		58,263千円	3,426千円	94.1 %							
	目	03 体育施設費					(参考)当初予算額	課	生涯学習課					
	事業	01 体育施設管理運営事業					56,166千円							
基本計画			27 多様な学びを支援する社会教育の充実	主な財源	使用料	社会体育施設使用料			1,316千円					
目的	市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。	使用料	公有財産使用料			116千円								
		諸収入	旧橋小火災保険料負担金、旧橋小光熱水費負担金			112千円								
		諸収入	学校施設光熱水費利用負担金			544千円								
		諸収入	社会体育施設光熱水費利用負担金			6千円								
		諸収入	大宮社会体育館光熱水費負担金			37千円								
主要な事務・事業の概要	<体育施設の維持管理経費>				<利用状況>									
	○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） 27,457千円				紅葉ヶ丘運動場（テニスコート） 145 件									
	○役務費（通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等） 1,597千円				大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート） 504 件									
	○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等） 15,457千円				大宮社会体育館 1,077 件									
	○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料） 663千円				網野グラウンド（グラウンド、ゲートボール場） 657 件									
	○備品購入費（大宮自然運動公園自走式草刈機、業務用掃除機） 304千円				網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート） 1,706 件									
	○工事請負費 9,359千円				丹後社会体育館 351 件									
	・五箇体育館電気設備改修工事 256千円				弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、ゲートボール場） 1,544 件									
	・網野体育センターキュービクル改修工事 742千円				久美浜中央運動公園（グラウンド、テニスコート、ゲートボール場） 1,080 件									
	・網野体育センター高圧受電設備改修工事 1,209千円				その他体育施設（30施設） 6,547 件									
	・体育館高圧受電設備改修工事（丹波・豊栄） 1,153千円				合 計（47施設） 13,611 件									
	・弥栄総合運動公園第2キュービクル改修工事 613千円				成果・課題 ○施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○施設の効率的・効果的な管理運営を図るため、公共施設等見直し計画に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。									
	・豊栄山村広場防球ネット改修工事 4,208千円													
	・豊栄山村広場グラウンド復旧工事 586千円													
	・久美浜中央運動公園テニスコート人工芝補修工事 592千円													
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額								56,387千円				
		実質的な予算執行率								97.2%				
	■令和6年度への繰越事業 1,876千円													
	体育館高圧受電設備改修工事（丹波・豊栄） 令和6年10月完了予定													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	8,596千円		8,712千円	116千円	98.6 %	課	生涯学習課
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額		
	事業	03 スポーツイベント推進事業					5,490千円		
基本計画			04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（スポーツイベント推進事業） 1,512千円				
目的			寄附金		ふるさと応援寄附金 3,632千円				
			諸収入	地方公共団体スポーツ活動助成金 1,335千円					
観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。									
主要な事務・事業の概要	＜スポーツイベントの実施状況＞								
	イベント名		開催日程	会 場	参加者等	関係予算(負担金・補助金) 執行内容			
	パラカヌーサポーター講習会		5/21(日)	久美浜湾	20人	講師謝金（1人分）	84千円		
	京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会		8/5(日)	久美浜湾	64チーム、768人	実行委員会への補助金	1,700千円		
	第21回丹後100kmウルトラマラソン		9/17(日)	京丹後市内	2,439人	実行委員会への補助金	127千円		
						バス運転委託料	612千円		
	丹後大学駅伝（第85回関西学生対校駅伝競走大会）		11/18(土)	丹後地域	23チーム、253人	後援会への負担金	600千円		
						大会特別企画事業補助金	3,632千円		
	第57回久美浜湾一周駅伝競走大会		11/23(木・祝)	久美浜湾周辺	304人	大会運営委託料	1,350千円		
	パラスポーツ体験会		12/16(土)	大宮	39人	講師謝金（4人分）	128千円		
	全国高等学校カヌー長距離選手権大会		3/16(土)、3/17(日)	久美浜湾	134人	大会運営委託料	300千円		
	合 計				3,957人		8,449千円		
	○その他経費		63千円		成果・課題	○年間を通じて、各種大会を実施し、参加者のほか、応援者、関係者等含め多くの参加者を得て、地域における経済効果及び市の魅力発信を図ることができた。 ○第85回目を迎えた丹後大学駅伝では、記念大会としてガバメントクラウドファンディングにより、青山学院大学がオープン参加した。また、前年度に引き続き、地上波でのテレビ放送も行い、開催地である丹後地域をPRすることができた。			
			・旅費 4千円						
			・消耗品費 35千円						
			・燃料費（丹後大学駅伝） 24千円						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	2,213千円		2,313千円	100千円	95.6 %		課
	目	02 スポーツ推進費					(参考)当初予算額		
	事業	04 ワールドマスターズゲームズ 関西推進事業					2,516千円		
基本計画			04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（スポーツイベント推進事業） 688千円				
					諸収入 地方公共団体スポーツ活動助成金（スポーツ振興くじ助成金） 637千円				
目的		ワールドマスターズゲームズ関西（WMG）関連事業開催を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、障害者スポーツの基盤づくり、スポーツによる地域の活性化を図る。							
主要な事務・事業の概要	○有料道路通行料			5千円	○SUPジャパンオープン補助金 790千円				
	OWMG関西京丹後市実行委員会運営補助金			118千円	＜SUP2023ジャパンオープン＞				
	WMG2027関西の開催に向け、大会運営に必要な基盤整備を行うため、実行委員会の開催や、大会の周知・啓発に係る事業を対象				・開催日：令和5年4月15日（土）、16日（日）				
					※15日（土）SUP無料体験会実施				
	○全日本カヌーマラソン選手権大会運営補助金			1,300千円	・参加者数：88人 ※無料体験会 10人				
	＜令和5年度全日本カヌーマラソン選手権大会＞				・会場：久美浜湾カヌー競技場				
	・開催日：令和5年5月12・13・14日（金・土・日）								
	・参加者数：256人								
	・会場：久美浜湾カヌー競技場								
					成果・課題	OWMGブレ大会（SUP、カヌーマラソン）を開催し、本大会に向けての競技運営に必要な運営体制等について確認することができ、今後の大会・合宿誘致に向けてノウハウを得られた。 OWMG大会が2027年5月に開催することが決定した。引き続き、大会の知名度の向上と機運醸成に向けた取組を展開していく必要がある。			